

評 価 資 料

0	平成 19 年度水と緑の森づくり事業事業費の概要	1
1	水と緑の森づくり推進事業	2
	富山県水と緑の森づくり会議における提言	3
2	里山再生整備事業	4
	里山再生整備事業実施状況一覧表	5
	里山再生整備事業実施位置図	6
3	みどりの森再生事業	7
	みどりの森再生事業実施状況一覧表	8
	みどりの森再生事業実施位置図	9
4	とやまの森づくりサポートセンター推進事業	10
	県民参加による森づくり参加延べ人数	11
5	とやまの森づくり総合情報システム事業	13
	とやまの森づくり総合情報システムで提供する情報	14
6	とやまの森づくり普及啓発推進事業	20
	フォレストリーダー養成講座開催実績	21
	「森の寺子屋」開催実績	23
7	県産材利用促進事業	26
	事業の実施と利用状況	27
	アンケート結果	30
8	県民による森づくり提案事業	41
	県民実施事業一覧	42
	実施団体の活動状況（事業主体別調書）	43
	アイデア提案一覧	58

平成19年度 水と緑の森づくり事業 事業費の概要

1. 富山県水と緑の森づくり基金積立額

275 百万円

内訳	水と緑の森づくり税込相当額	270 百万円
	寄 付 金	5 百万円

当初予算額

実 施 額

2. 水と緑の森づくり事業費

270 百万円

260 百万円

水と緑の森づくり推進事業	1 百万円	1 百万円
里山再生整備事業	61 百万円	85 百万円
みどりの森再生事業	100 百万円	75 百万円
とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	29 百万円	28 百万円
とやまの森づくり総合情報システム事業	28 百万円	25 百万円
とやまの森づくり普及啓発推進事業	3 百万円	3 百万円
県産材利用促進事業	40 百万円	34 百万円
県民による森づくり提案事業	9 百万円	9 百万円

- 県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善 - 水と緑の森づくり推進事業

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

平成19年度事業の実績

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

県民全体で支える森づくりを推進するため、森づくり全般について、県内の各界の代表者や有識者から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成19年5月30日

議題

平成19年度事業計画の報告

「県民による森づくり提案事業(県民実施事業)」の採択審査など

第2回 平成19年11月22日

議題

平成19年度事業実施状況の報告

「県民による森づくり提案事業(アイデア提案)」の審査
平成20年度事業への提案 など

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価するための評価方法などについて検討しました。

第1回 平成19年6月5日

内容

森づくり事業の評価方法の検討

里山再生整備事業実施予定地の現地調査 など

第2回 平成19年12月19日

内容

平成19年度事業の実施状況の報告

森づくり事業の評価方法の決定 など



富山県水と緑の森づくり会議で議長（石井知事）があいさつ。



森林審議会森づくり部会が里山再生整備事業の実施予定地を現地調査しました。

平成19年度 第2回 水と緑の森づくり会議における次年度事業への提言

《 提言に基づき新規予算化したもの 》

区分	委員からの提言内容	対応事業及び内容
カシノナガキクイムシ被害対策	被害林については、国庫補助事業により対応しているが、事業対象は当年度に被害を受けたもののみ。枯れた立木は対象外だが、放置しておく道路・民家沿いは危ないので、その対応を検討いただきたい。	里山再生整備事業の拡充 ⑨ カシノナガキクイムシ枯損木除去事業 里山林や主要道路沿線のカシノナガキクイムシによる枯損木の除去 (事業主体：市町村)
竹林の拡大対策	竹林の拡大は、富山県の里山づくりにとっても大きな問題だろう。実態を把握してほしい。	里山再生整備事業の拡充 ⑨ 放置竹林等整備推進事業 拡大する放置竹林実態把握と整備方針の検討 (事業主体：県)
県産広葉樹苗木の生産	県産広葉樹苗木の育成にボランティア団体も参加できる仕組みとしてはどうか。	みどりの森再生事業の拡充 ⑨ みどりの里親事業 県民参加による県産広葉樹苗の育成 (事業主体：県)

- 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進 -

里山再生整備事業

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施します。

平成19年度事業の実績

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを目指して、里山管理利用計画の策定や里山林整備、地域住民による整備活動の支援などを行ないました。

【平成19年度実績】

事業実施地区	44地区(14市町)
対象面積	366ha
事業主体	市町村

(2) 県による里山再生モデル林の整備

里山再生整備のモデルとなる取組みを県が行ないました。

【平成19年度実績】

事業実施地区	黒部市若栗地区
対象面積	8.0ha
取組内容	・平成19年8月4日に石井富山県知事、堀内黒部市長はじめ、地域住民など150名が参加し森林整備開始式を開催 ・広葉樹林整備2.6haを実施
事業主体	県



里山再生モデル林での森林整備開始式では住民の皆さんら150名が里山林の整備に汗を流しました。



森林整備の実施により明るく見通しの良い里山林によみがえりました。

里山再生整備事業実施状況一覧表

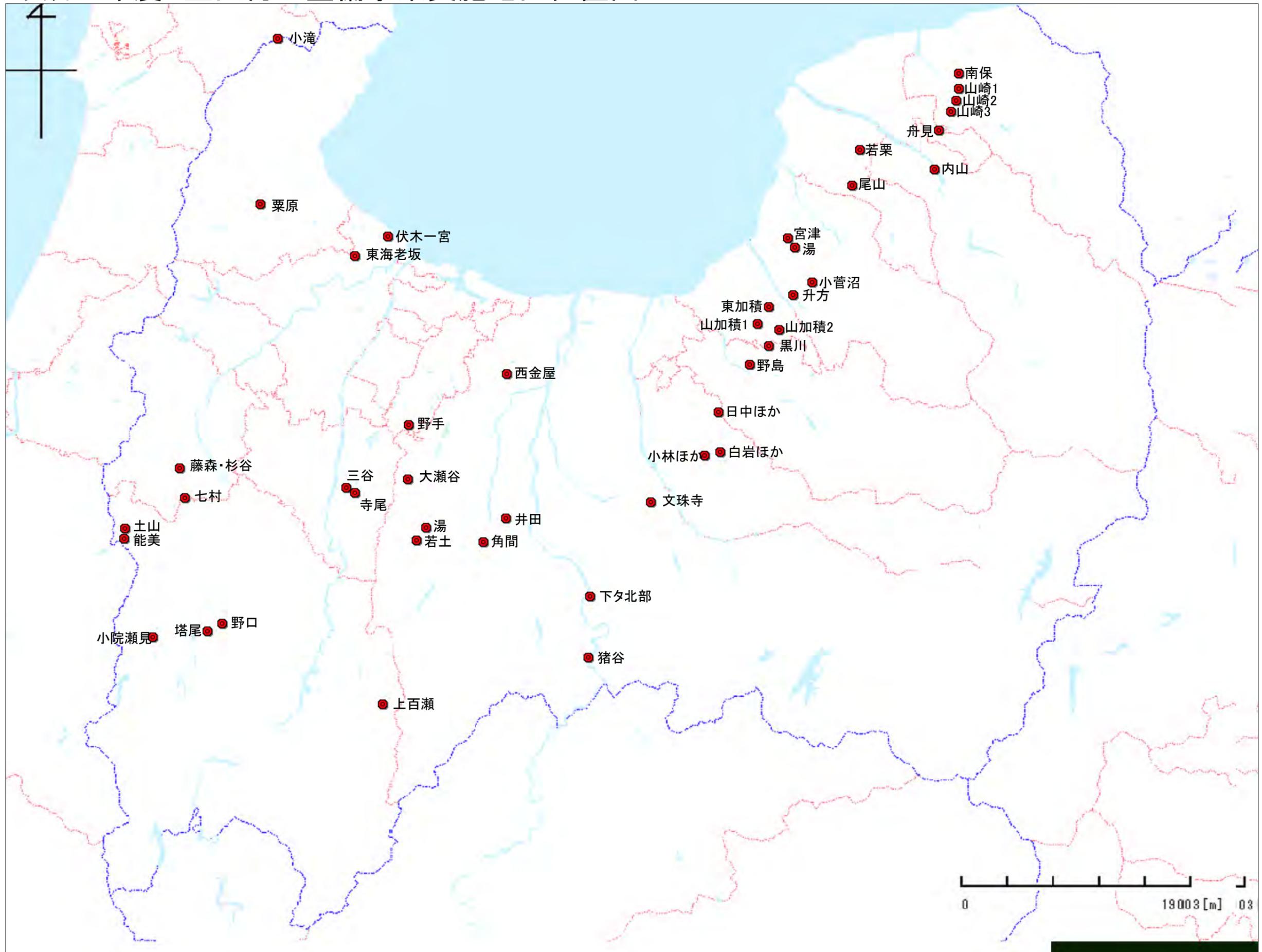
2008/5/28現在

全体計画及び進捗率

年度	全体計画	H19年度(実績)	H20年度(計画)	H21年度(計画)	H22年度(計画)	H23年度(計画)
地区数		44地区	86地区	126地区	82地区	40地区
新規地区		44地区	42地区	40地区		
2年目地区			44地区	42地区	40地区	
3年目地区				44地区	42地区	40地区
事業実施地区面積(累計)	1,000ha	366ha	738ha	1,000ha	1,000ha	1,000ha
進捗率		36.6%				
			73.8%	100.0%	100.0%	100.0%

No.	市町村	地区名	新規継続完了区分	全体事業計画										平成19年度末事業実績					
				事業区域面積	事業期間	事業内容				整備目的						計画策定	里山林整備	県民参加の森づくり	里山活用促進
						広葉樹林整備	竹林整備	被害林整備	里山活用促進	野生動物との棲み分け	森林環境地域景観保全	ライフラインの保全	地域やボランティアによる里山活用						
1	朝日	山崎その1	新規	12.0ha	H19~21	3.0ha						○	○			○	3.6ha	○	
2	朝日	山崎その2	新規	12.0ha	H19~21	3.0ha						○	○			○	3.6ha	○	
3	朝日	山崎その3	新規	11.0ha	H19~21	6.8ha						○	○			○	6.2ha	○	
4	朝日	南保	新規	8.0ha	H19~21	5.5ha						○	○			○	2.0ha	○	
	小計	4地区		43.0ha		18.3ha						4地区	4地区			4地区	15.4ha	4地区	
5	入善	舟見	新規	17.7ha	H19~21	8.6ha						○	○			○	2.6ha		
	小計	1地区		17.7ha		8.6ha						1地区	1地区			1地区	2.6ha		
6	黒部	若栗	新規	8.0ha	H19~21	3.6ha						○				○	2.6ha	○	
7	黒部	尾山	新規	13.5ha	H19~21	2.0ha						○				○	1.0ha		
8	黒部	内山	新規	10.8ha	H19~21	4.0ha						○				○	2.5ha		
	小計	3地区		32.3ha		9.6ha						3地区				3地区	6.1ha	1地区	
9	魚津	升方	新規	5.0ha	H19~21	4.0ha						○				○	2.0ha		
10	魚津	湯上	新規	5.0ha	H19~21	4.0ha						○				○	2.0ha		
11	魚津	富津	新規	10.0ha	H19~21	4.0ha	2.0ha					○				○	3.0ha		
12	魚津	小菅沼	新規	5.0ha	H19~21	2.0ha	2.0ha					○				○	1.0ha		
	小計	4地区		25.0ha		12.0ha	4.0ha					4地区				4地区	8.0ha		
13	滑川	東加積	新規	4.0ha	H19~21	0.5ha						○	○			○	0.5ha		
14	滑川	山加積1	新規	4.0ha	H19~21	1.0ha	0.1ha					○	○			○	1.1ha		
15	滑川	山加積2	新規	4.0ha	H19~21	0.4ha						○	○			○	0.4ha		
	小計	3地区		12.0ha		1.9ha	0.1ha					3地区	3地区			3地区	2.0ha		
16	富山	西金属	新規	13.0ha	H19~21	4.9ha							○			○	1.0ha		
17	富山	下々北部	新規	5.0ha	H19~21	1.6ha	1.9ha					○	○			○	1.3ha		
18	富山	文殊寺	新規	4.2ha	H19~21	3.5ha	0.7ha							○		○	1.0ha	○	
19	富山	角間	新規	10.8ha	H19~21	8.3ha							○			○	3.8ha	○	
20	富山	井田	新規	10.1ha	H19~21	7.6ha						○				○	4.5ha		
21	富山	大瀬谷	新規	15.0ha	H19~21	9.0ha	0.6ha		○			○				○	6.8ha	○	
22	富山	湯	新規	13.5ha	H19~21	1.0ha	0.3ha						○			○	0.2ha		
23	富山	若土	新規	14.7ha	H19~21	3.4ha	1.9ha					○		○		○	0.4ha		
24	富山	猪谷	新規	6.7ha	H19~21	0.8ha							○			○	0.8ha		
	小計	9地区		93.0ha		35.2ha	10.3ha		1地区			4地区	5地区	1地区	2地区	9地区	19.8ha	3地区	
25	上市	野島	新規	13.0ha	H19~21	5.6ha	6.0ha					○				○	6.8ha		
26	上市	黒川	新規	9.0ha	H19~21	5.4ha	0.8ha					○	○			○	3.6ha		
	小計	2地区		22.0ha		11.0ha	6.8ha					2地区	1地区			2地区	10.4ha		
27	立山	日中ほか	新規	4.1ha	H19~21	2.2ha	1.5ha					○	○	○		○	3.7ha		
28	立山	小林ほか	新規	10.5ha	H19~21	3.5ha	2.4ha					○	○	○		○	5.9ha		
29	立山	白岩ほか	新規	7.8ha	H19~21	3.5ha	0.7ha					○	○	○		○	2.5ha		
	小計	3地区		22.4ha		9.2ha	4.6ha					3地区	3地区	3地区		3地区	12.1ha		
30	高岡	伏木一宮	新規	4.5ha	H19~21	1.0ha	1.3ha						○			○	2.3ha		
31	高岡	東海老坂	新規	4.0ha	H19~21	3.1ha							○		○	○	3.1ha		
	小計	2地区		8.5ha		4.1ha	1.3ha						2地区		1地区	2地区	5.4ha		
32	氷見	小滝	新規	5.0ha	H19~21	5.0ha							○			○	2.8ha	○	
33	氷見	粟原	新規	5.0ha	H19~21	5.0ha							○			○	3.0ha	○	
	小計	2地区		10.0ha		5.0ha							2地区			2地区	5.8ha	2地区	
34	小矢部	藤森・老谷	新規	5.6ha	H19~21	5.6ha							○			○	2.1ha	○	
	小計	1地区		5.6ha		5.6ha							1地区			1地区	2.1ha	1地区	
35	射水	野手	新規	6.1ha	H19~21	1.0ha									○	○	1.0ha		
	小計	1地区		6.1ha		1.0ha									1地区	1地区	1.0ha		
36	砺波	寺尾	新規	10.0ha	H19~21	2.0ha	2.0ha					○				○	3.6ha		
37	砺波	三谷	新規	8.0ha	H19~21	1.0ha	1.0ha					○				○	1.7ha		
	小計	2地区		18.0ha		3.0ha	3.0ha					2地区				2地区	5.3ha		
38	南砺	七村	新規	5.2ha	H19~21		3.6ha							○		○	1.8ha		
39	南砺	能美	新規	6.4ha	H19~21	0.7ha	1.0ha					○				○	1.7ha	○	
40	南砺	土山	新規	9.9ha	H19~21	1.4ha	2.0ha					○				○	2.4ha	○	
41	南砺	小滝瀬見	新規	6.5ha	H19~21	3.1ha	0.1ha					○		○		○	1.6ha		
42	南砺	塔尾	新規	6.1ha	H19~21	0.5ha	1.5ha					○				○	2.0ha		
43	南砺	野口	新規	6.9ha	H19~21	0.8ha	0.6ha					○				○	1.4ha	○	
44	南砺	上百瀬	新規	9.0ha	H19~21	6.1ha									○	○	2.5ha		
	小計	7地区		50.0ha		12.6ha	8.8ha					5地区		2地区	1地区	7地区	13.4ha	3地区	
	合計	44地区		365.6ha		137.1ha	38.9ha		1地区			31地区	22地区	6地区	5地区	44地区	109.4ha	14地区	

平成19年度 里山再生整備事業実施地区位置図



- 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進 -

みどりの森再生事業

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施します。

平成19年度事業の実績

(1) 風雪被害林の整理の実施

平成16年に県西部を中心に発生した風雪被害林での倒木や折損木を整理しました。

また、高岡市福岡町上野地内では、「上下流連携植樹の集い」を開催し、地元森林所有者や地元企業の方々のほか、岐阜県関係者や漁業関係者、地元企業の方々とともに広葉樹の植樹活動を実施しました。

【平成19年度実績】

事業実施箇所	11地区(7市町)
整備面積	42.1ha
事業主体	県

(2) 過密人工林の整理の実施

十分な手入れがなされず過密となった人工林に、広葉樹が発生し生育する環境を整えるための伐採を実施しました。

【平成19年度実績】

事業実施箇所	11地区(8市町)
整備面積	19.3ha
事業主体	県



風雪被害を受けた倒木や折損木を整理した跡地で「上下流連携植樹の集い」を開催し、コナラやサクラなどの広葉樹の植樹活動を行いました。



過密人工林を伐採し、林内に日光が射し込むようにすることで、広葉樹が発生し成長しやすい環境を整えました。

みどりの森再生事業実施状況一覧表

2008/5/28現在

全体計画及び進捗率

年度		全体計画	H19年度 (実績)	H20年度 (計画)	H21年度 (計画)	H22年度 (計画)	H23年度 (計画)
事業実施 面積 (累計)	風雪被害林整理	250ha	42ha	34ha	84ha	90ha	
	過密人工林整理	750ha	19ha	36ha	45ha	250ha	400ha
	合計	1000ha	61ha	70ha	129ha	340ha	400ha
進捗率		実績 計画	6.1%				
				13.1%	26.0%	60.0%	100.0%

計画 番号	市町村名	箇所名	平成19年度事業実績				
			事業 区域 面積	事業内容		整備の目的	
				風雪被害林 整	過密人工林 整	災害の防止	景観の保全
1	朝日	笹川 外	3.1ha	1.1ha	2.1ha	○	○
2	朝日	山崎	2.2ha		2.2ha		○
	小計		5.4ha	1.1ha	4.3ha		
3	入善	舟見	1.6ha		1.6ha		○
	小計		1.6ha		1.6ha		
4	黒部	池尻	1.0ha		1.0ha	○	
5	黒部	宇奈月町舟見明日音沢	1.0ha		1.0ha	○	
	小計		2.0ha		2.0ha		
6	魚津	古鹿熊	1.0ha		1.0ha	○	
7	魚津	奥平沢	2.0ha		2.0ha	○	
	小計		3.0ha		3.0ha		
8	富山	八尾町三田ほか	4.7ha	3.5ha	1.2ha	○	
	小計		4.7ha	3.5ha	1.2ha		
9	上市	東種	1.9ha		1.9ha	○	
	小計		1.9ha		1.9ha		
10	立山	下田	4.4ha		4.4ha		○
	小計		4.4ha		4.4ha		
11	高岡	福岡町上野	10.2ha	10.2ha		○	○
	小計		10.2ha	10.2ha			
12	氷見	仏生寺	1.1ha	1.1ha		○	○
13	氷見	上田	4.8ha	4.8ha		○	○
14	氷見	針木	4.0ha	4.0ha		○	○
	小計		9.9ha	9.9ha			
15	小矢部	田川	4.8ha	4.8ha		○	○
16	小矢部	田川2	3.2ha	3.2ha		○	○
	小計		8.0ha	8.0ha			
17	砺波	寺尾ほか	4.6ha	4.6ha		○	○
	小計		4.6ha	4.6ha			
18	南砺	砂子谷ほか	3.0ha	3.0ha		○	○
19	南砺	利賀村大豆谷ほか	2.7ha	1.8ha	0.9ha	○	○
	小計		5.7ha	4.8ha	0.9ha		
	合計		61.4ha	42.1ha	19.3ha	16地区	13地区

平成19年度 みどりの森再生事業実施箇所位置図



- とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進 -
とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

平成19年度事業の実績

(1) 登録団体数等(平成20年3月31日現在)

43団体 2,903人 11企業

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、ナタ、鋸、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出し
- ・登録ボランティア団体への活動経費や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のための「森づくり塾」の開催など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いやボランティア交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの設置 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や、店舗店頭設置しPRする「ミニ旗」の作成・配布
- ・サポートセンターのPRパンフレットや企業の森づくりのPRパンフレットの作成・配布 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しています。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



南砺市で開催したボランティアの集いには石井知事も応援に駆けつけました。



ミニ旗を作成し、店舗店頭設置しPR活動を行いました。

平成19年度 県民参加による森づくり参加延べ人数

類 別	活動回数	延べ参加人数	H18実績
サポートセンター登録団体・個人			
森林整備型	95回	926人	999人
体験参加型	322回	5,257人	2,954人
小計	417回	6,183人	3,953人
企業の森づくり（サポートセンター登録企業）	6回	407人	312人
サポートセンター主催活動	2回	277人	150人
計	425回	6,867人	4,415人
里山再生整備事業（地域外の参加者数）		53人	0人
総 計		6,920人	4,415人

平成19年度 サポートセンター登録団体等一覧表

I サポートセンター登録団体・個人

	登録年月	団体名称	事務局	会員数	備考
1	H18.03	あそあそ自然学校	上市町浅生15	4	
2	H18.03	草刈り十字軍運動本部	富山市安養寺110	73	
3	H18.03	雑木囃子	砺波市東別所5303	36	
4	H18.03	財団法人オイスカ富山県支部	富山市下大久保2412-9	20	
5	H18.03	南砺の山々を守る実行委員会	南砺市高儀387-14	23	
6	H18.03	富山県フォレストリーダー協会	魚津市仏田3432-8	52	
7	H18.03	片貝川の流れを戻す会	魚津市道坂103-4 アソビノ内	50	
8	H18.03	NPO法人グリーンツリーとやま	富山市上飯野25番地	130	
9	H18.03	森づくりボランティア「天林森の会」	立山町福田728	51	
10	H18.03	とやま森林サポーターの会	富山市掛尾町341番地	33	
11	H18.03	とやま森林サポーター二期会	滑川市追分3776番地	34	
12	H18.03	とやま森林サポーター三期会	立山町蔵本新392番地	34	
13	H18.03	とやま森林サポーター四期会	富山市山室45-5	30	
14	H18.03	NPO法人とやまの木で家をつくる会	富山市元町2-3-18	105	
15	H18.03	どんぐりころりん会	立山町五百石165	41	
16	H18.03	火見城発伸の会	氷見市飯久保125	30	
17	H18.04	環境教育ネットワークとやまエコひろば	高岡市中山園町5-14	50	
18	H18.04	とやま森林づくりボランティアの会	富山市朝葉町1丁目67-5	64	
19	H18.04	とやま森林インストラクター会	砺波市東別所5303番地	19	
20	H18.04	地域福祉協会	富山市安住町5-21	10	
21	H18.04	グリーンサポート 十夢草野の会	高岡市白金町7-15	23	
22	H18.05	社会福祉法人 めひの野園	富山市西金屋6694-4	10	
23	H18.05	木と暮らそうネット	富山市婦中町新屋507	30	
24	H18.05	富山県林務建設業協会ボランティアの会	富山市安住町3-14	15	
25	H18.05	きんたろう倶楽部	富山市古沢254	763	
26	H18.05	市民いきものメイト	富山市古沢254	271	
27	H18.06	呉羽丘陵 “森の楽校”	富山市小杉120	72	
28	H18.06	とやま森林と人ネットワーク	氷見市惣領296番地	31	
29	H18.08	小矢部市立 蟹谷(かんだ)中学校	富山県小矢部市藤森60番地	60	
30	H18.08	社会福祉法人 「溪明園」	富山県小矢部市論田8番地	10	
31	H18.09	八尾ふるさと発見塾	富山県富山市八尾町角間2番地	45	
32	H18.10	伏木ふるさとの杜 管理協力会	富山県高岡市伏木一宮2丁目3-29	200	
33	H18.10	上市町立 上市中学校 生徒会	富山県中新川郡上市町稗田1番地	80	
34	H18.11	夢創塾(むそうじゅく)	下新川郡朝日町蛭谷469	20	
35	H19.02	森のむささび	高岡市福岡町五位1207	20	
36	H19.04	グループ樹の実	黒部市生地神区207-3	40	
37	H19.04	NPO法人森林総合支援センター	富山市金屋3854	31	
38	H19.05	梅檀野さくらの会	砺波市芹谷1036	34	
39	H19.05	小矢部里山を守る会	小矢部市泉町3-9	8	
40	H19.05	Bamboo saves the earth	富山市婦中町希望ヶ丘654	6	
41	H19.08	富山県林友クラブ	富山市舟橋北町4-19	150	
42	H20.02	砺波里山再生の会	砺波市福岡445	10	
43	H20.02	阿古屋野森づくりクラブ	黒部市窪野97	20	
		小計		2,838	
		個人登録者		65	
		計		2,903	

II サポートセンター登録企業

	登録年月	企業名称	事務局	社員(会員)数
1	H18.03	北陸功・コ・グループ「うるおいの森づくり」有志の会	高岡市内島3550番地	160
2	H18.05	イオン株式会社ジャスコ高岡南店	高岡市下伏間江383番地	400
3	H18.10	(株)国際電気ビルサービス(富山事業所)	富山市八尾町保内2-9-2	57
4	H19.05	(株)トヨックス	黒部市前沢4371	261
5	H19.05	北星ゴム工業(株)	黒部市岡362-14	470
6	H19.05	ダイヤテックス(株)	黒部市沓掛2000	300
7	H19.07	川端鐵工(株)	黒部市生地芦区247	80
8	H19.09	YKKグループ黒部事業所	黒部市吉田200	6,400
9	H19.11	ウッドリンク株式会社 フォルスタクラブ	射水市寺塚原415	150
10	H19.12	藤堂工業株式会社	滑川市上島838	150
11	H20.01	タケノコグループ “安心の森づくり”クラブ	射水市西高木1184番地	230

- とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進 -

とやまの森づくり総合情報システム事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

平成19年度事業の実績

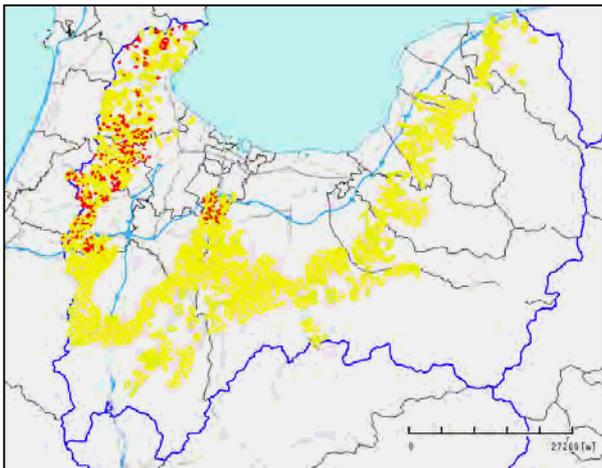
(1) 森林GISシステムの整備

人工林、天然林、樹種などの分析データ、里山再生整備事業やみどりの森再生事業の実施区域、ツキノワグマの出没地点などを、地形図や航空写真上に表示するため「森林GISシステム」を整備しました。

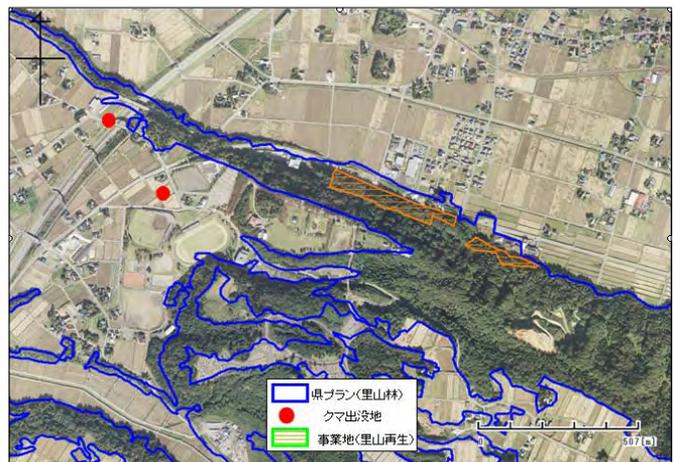
(2) とやまの森づくりホームページの公開

森林GISシステムを用いて作成したとやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業を紹介する「とやまの森づくりホームページ」を作成し公開しました。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>



森林GISを用いることで、混交林の整備対象地(黄色)と風雪被害林の位置(赤色)を富山県図に表示できます。



里山林の整備対象地とツキノワグマの出没地点、平成19年度森林整備区域のデータを航空写真上に重ねて表示もできます。



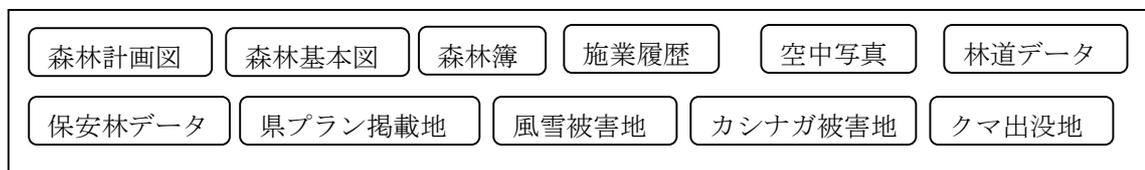
とやまの森づくりホームページにより、水と緑の森づくり事業実施状況などについての情報発信を行ないました。

平成 19 年度とやまの森づくり総合情報システム事業について

1 事業実績

(1) 森林 GIS の整備

① 整備データ



② 活用内容

i とやまの森の情報図作成

各種情報を有機的に処理し、県内の森林の現況等を分かりやすく示した、情報図を作成。

ii 森づくり事業の情報図作成

水と緑の森づくり事業の結果及びその効果を、わかりやすく情報提供するための情報図を作成。

(2) 「とやまの森づくりホームページ」の整備と公開

水と緑の森づくり事業に関する情報を紹介する、「とやまの森づくりホームページ」の整備し、公開。

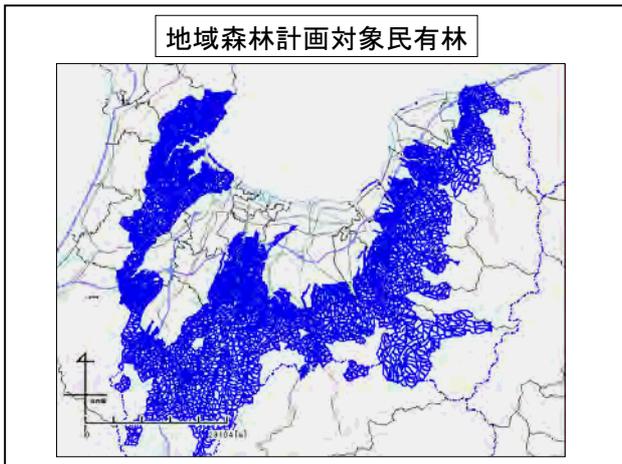
2 事業の効果

森林 GIS を整備し、森づくり事業地を地形図や空中写真上等に表示することが可能となり、森づくり事業の評価・改善に向けた基礎資料作成に活用することが出来るようになった。

また、水と緑の森づくり事業専用のホームページを整備し、公開することで、広く県民が情報を取得できる体制を整備した。

1 とやまの森の情報図作成

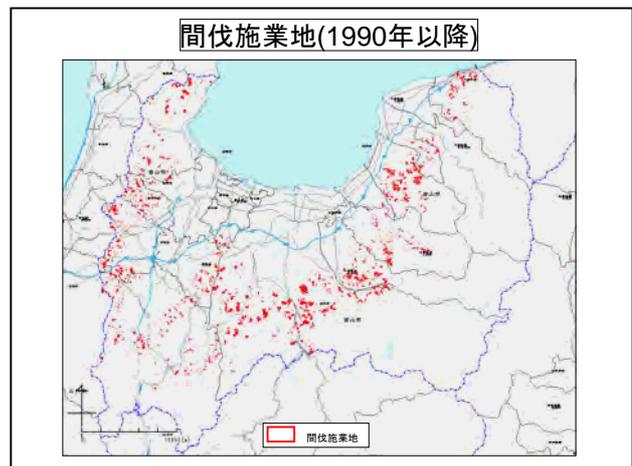
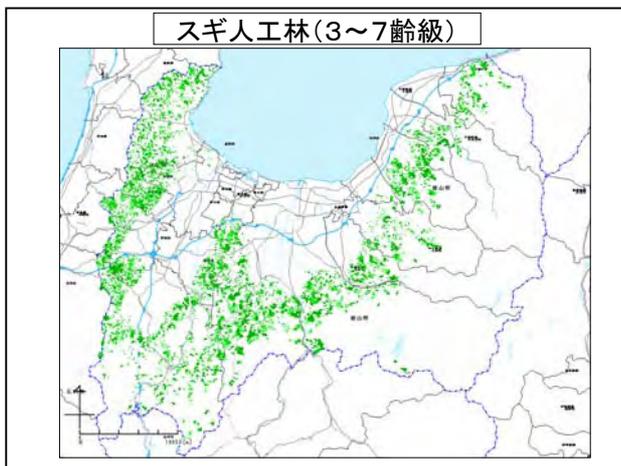
①地域森林計画対象民有林



※森づくり事業の対象としている民有林の分布

〔 使用データ：全県図、森林計画図 〕

②スギ人工林の整備状況



※間伐の必要な森林が広く分布しているにもかかわらず適正な手入れがされていない。

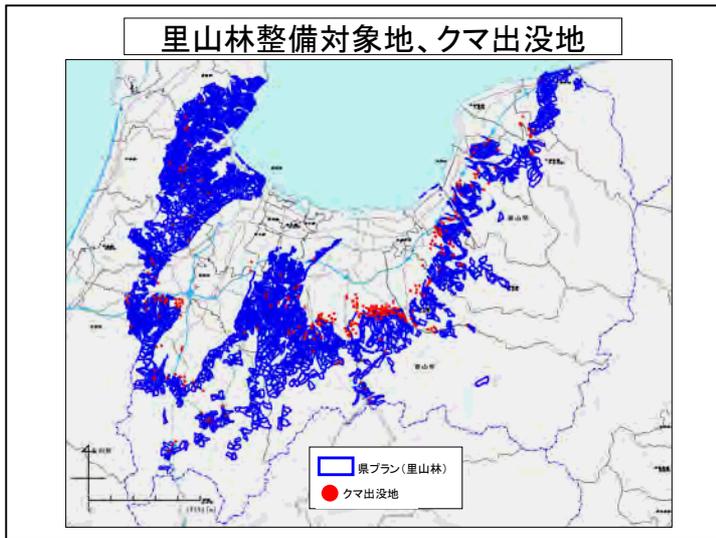
〔 使用データ：全県図、森林計画図、森林簿、施業履歴データ 〕



- ・ 県内森林の現況等を分かりやすく、県民に情報提供を行い、森づくりへの理解の醸成を行う。
- ・ 効果的な森づくりを検討する。

2 森づくり事業の情報図作成

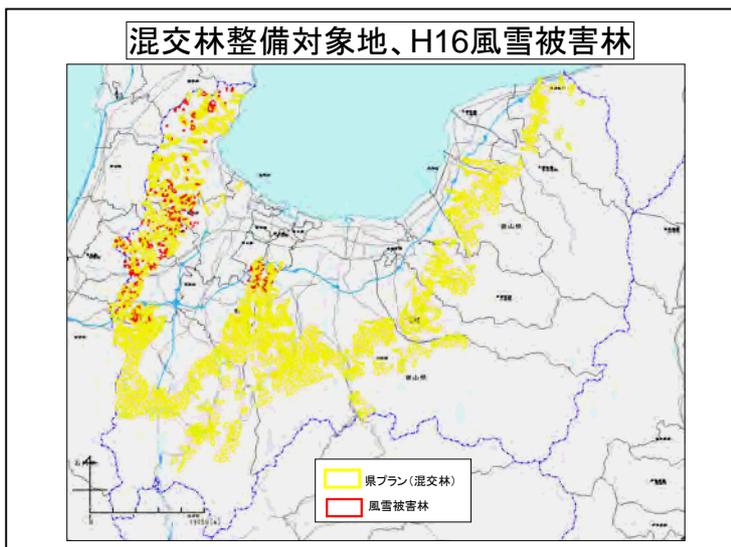
①里山林整備対象地とクマ出没地の分布



※野生動物との棲み分け等に向け、県森づくりプランで検討している、里山林整備対象地。

〔使用データ：全県図、県プランデータ、クマ出没地データ〕

②混交林整備対象地と風雪被害林の分布



※風雪被害林等をスギと広葉樹の混交林へ向け、県森づくりプランで検討している、混交林整備対象地。

〔使用データ：全県図、県プランデータ、風雪被害林データ〕

③森づくり事業地情報図作成



※里山再生整備事業地

地区名：下夕北部

整備目的：野生生物との棲み分け、
森林環境・地域景観保全

当地区では、クマの出没があるため、集落と裏山の境の森林を整備し、遠くからでも野生動物を確認できるように整備。

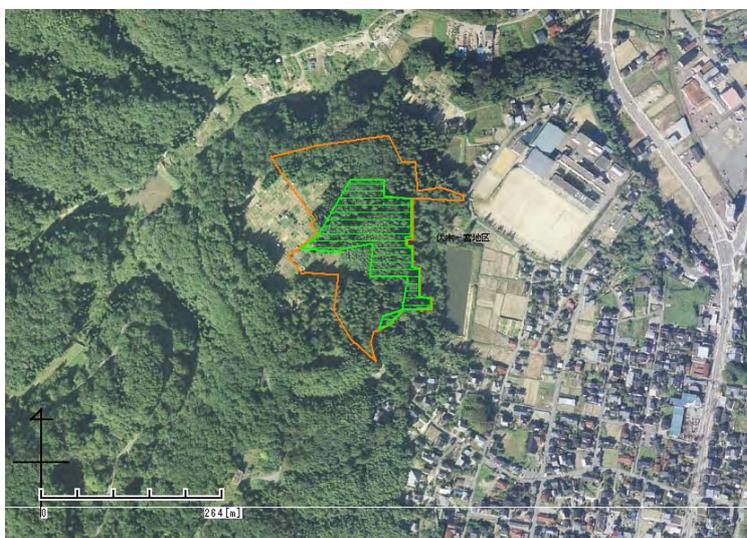


※里山再生整備事業地

地区名：野島

整備目的：野生生物との棲み分け

広葉樹および竹林の抜き切りを実施し、林内を明るくすることにより、サルおよびクマ等の野生動物との棲み分けを図ると共に、景観の改善を図る。

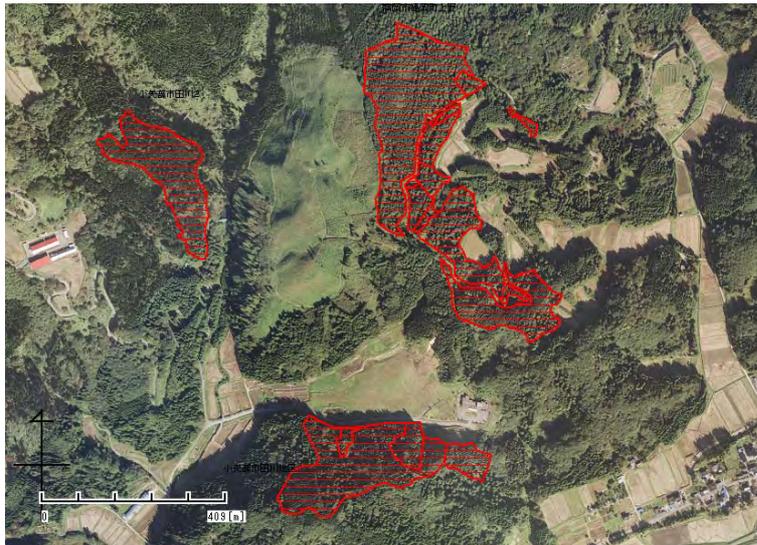


※里山再生整備事業地

地区名：伏木一宮

整備目的：森林環境・地域景観
保全

広葉樹整備地は、地域住民が、林縁部の定期的な刈り払いを行う。
竹林整備地は、地域住民が再発生した筍の除去や植栽木周辺の下刈を行う。

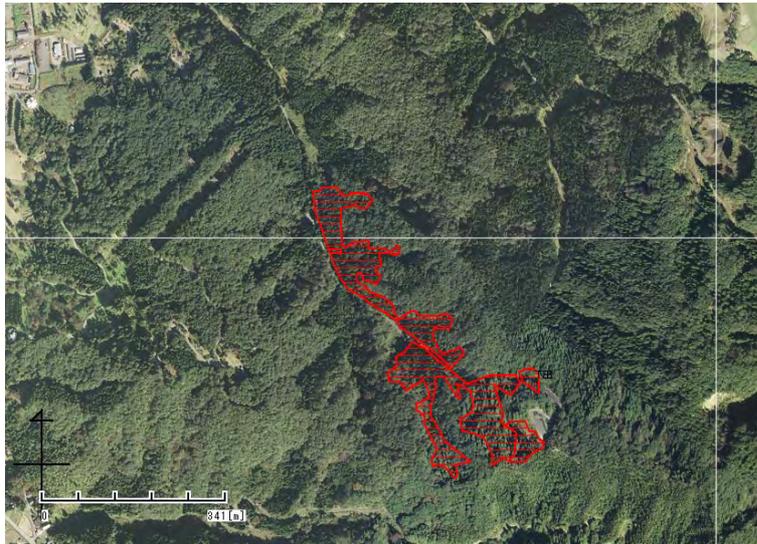


※みどりの森再生事業地

地区名：上野、田川

整備目的：風雪被害林の整備

風雪被害林を整備し、スギと広葉樹の混交林へと誘導。



※みどりの森再生事業地

地区名：下田

整備目的：過密人工林の整備

過密人工林で伐採を行い、林内を広葉樹等が侵入できる明るい環境に整備。

- 森づくり事業の評価、改善の基礎資料とする。
- 森づくり事業の結果を公表するために活用。

3 「とやまの森づくりホームページ」の整備と公開

①整備したホームページ

整備したホームページ(トップページ)



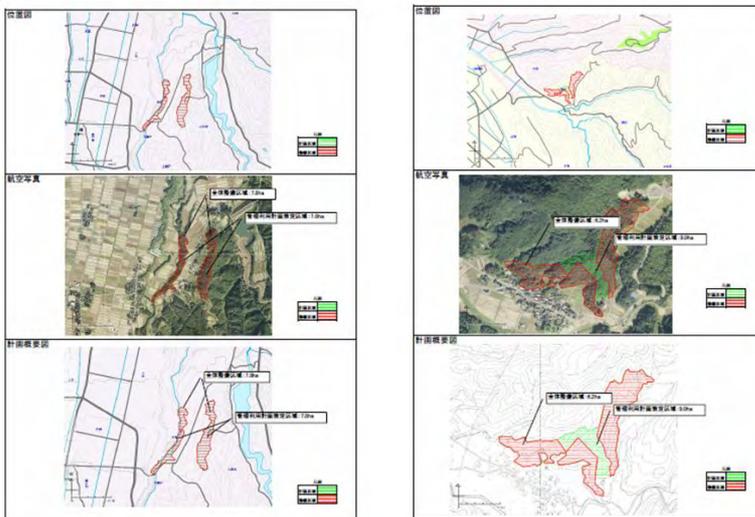
※ホームページを活用して、水と緑の森づくり事業に関する情報を公開。

平成20年3月27日公開
とやまの森づくりホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/>

②公表されるデータ

ホームページで公表するデータ



※森づくり事業地の測量データを取りまとめ、空中写真等を活用し分かり易く情報を提供。

使用データ：全県図、基本図、森づくり事業地データ

森づくり活動の結果や効果を分かり易く公表し、幅広い県民からの意見を今後の森づくりの参考とする。

- とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進 -

とやまの森づくり普及啓発推進事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

平成19年度事業の実績

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しました。

【平成19年度開催回数】

- ・ 出前講座 12回 (参加人数 673人)
- ・ 森林教室 34回 (参加人数 2,174人)

(2) フォレストリーダーの養成

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーを新規養成しました。

- ・ 新規認定者数 62名
(参考：既認定者数 52名)
- ・ 養成講座開催 10回 (H19.6.20 ~ H19.10.23)



フォレストリーダーの養成講座では、座学だけでなく現地実習も実施しました。



「森の寺子屋」では、小学校などからの要請を受け、フォレストリーダーが出向いて講義などを行なっています。

とやまの森づくり普及啓発推進事業 フォレストリーダー養成講座実績

1. 事業概要

本年4月から導入された「水と緑の森づくり税」を活用し、児童生徒や一般県民に対し森づくりへの理解を深めるための指導者となるフォレストリーダーを養成するもの。

※ フォレストリーダーとは

県民への森林・林業に関する知識の普及および解説を行う者であり、今後とやまの森づくりの未来を担う児童・生徒をはじめ、広く一般県民を対象とした講義や森林教室の指導者として活動する者。

2. 計画養成者数 30名

3. 認定者数 62名(受講者数 64名)

4. 実施状況

(1) 実施状況写真



第1回養成講座



第5回養成講座



第6回養成講座



第7回養成講座

(2) 養成講座開催日程及び内容

月日／時間	内 容	開催場所・講師
6月16日(土) 午前9時30分～12時	開講式、オリエンテーション 第1回講座(講義) 『とやまの森をめぐる現状と課題』 『フォレストリーダーの役割』	富山県民会館701号室 富山県森林政策課職員
6月30日(土) 午後12時30分 ～午後5時	第2回講座(講義) 『森と木の見方』 『森林の機能』	林業普及センター 林業試験場職員
7月14日(土) 午後12時30分 ～午後5時	第3回講座(講義) 『森林の管理Ⅰ(苗木の生産)』 『森林の管理Ⅱ(植栽後の管理)』 『森林の管理Ⅲ(広葉樹の管理)』	林業普及センター 林業試験場職員
7月29日(日) 午後12時30分 ～午後5時	第4回講座(講義) 『森林の病虫害(マツやナラ類等の枯損)』 『きのこ山菜栽培』	林業普及センター 林業試験場職員
8月4日(土) 午前9時00分 ～午後5時	第5回講座(講義及び実習) 『黒部の里山の植生』 『樹木学実習(黒部市の里山林)』 『林業試験場での試験・研究の現地解説』	黒部市若栗地内 林業試験場周辺 元富山大学教授長井真隆、中央 植物園職員、林業試験場職員
8月25日(土) 午後12時30分 ～午後5時	第6回講座(講義及び実習) 『森林土壌の調べ方とその性質』 『森林調査法実習(樹高、胸高直径、樹種)』	林業普及センター 林業試験場周辺 林業試験場職員
9月5日(水) 午後1時30分 ～午後4時	第7回講座(実習) 『出前講座(とやまの森林について)』 『木工教室(小枝のボールペン製作指導)』	射水市片口小学校 フォレストリーダー
9月29日(土) 午前9時00分 ～午後5時	第8回講座(視察及び実習) 『風雪被害林跡地視察』 『原木シイタケ栽培視察』 『植栽実習(風雪被害林跡地)』	小矢部市田川地内 高岡市福岡町沢川地内 高岡市福岡町家族旅行村 高岡農地林務事務所林務職員外
10月13日(土) 午後12:30分 ～午後5時	第9回講座(講義) 『森林環境教育の意義』 『森林と動物の関わり(サル、イシ、クマ)』	富山県民会館701号室 全国林業普及協会白石先生 富山県自然保護課職員
10月27日(土) 午前9時30分～12時	第10回講座(講義) 『人を引きつける話し方』 閉講式	教育文化会館集会室 (有)I.S.K 市井啓子

4. 事業の効果

新たに62名のフォレストリーダーを養成したことにより、今後更に、県民への森林・林業の普及・啓発活動の実施が可能となり、県民からの要請にも応えられる体制を整えた。(フォレストリーダー認定者数は114名)

平成19年度 『森の寺子屋』開催実績について

1. 平成19年度 『森の寺子屋』開催目標数について

開催要請者別			学校数	開催回数	摘 要
学 校	小・中学校	計画	4	8	児童・生徒(999名)
		実績	14	19	
団体その他	団体及び自治会等	計画	/	17	一般県民、花とみどりの少年団等(1,848名)
		実績		27	
合 計			計画	25	全体(2,847名)
			実績	46	

(参 考)

『森の寺子屋』開催実績の内訳

開催要請者別		学校数	開催回数	対象者数		
				児童・生徒	一般県民	計
学 校	小学校	13	18	862		862
	中学校	1	1	137		137
	小計	14	19	999	0	999
団体その他	(社)緑化推進機構	/	5	731		731
	(財)花と緑の銀行		7		340	340
	児童センター		3	83		83
	民間企業		1		300	300
	その他		11	57	337	394
	小計		27	871	977	1,848
合 計			46	1,870	977	2,847

平成19年度 森の寺子屋開催実績

開催回数	開催年月日 年 月 日	開催要請者	対象者			『森の寺子屋』の内容	
			区 分	学年等	人数	区 分	具体的内容
1	19 / 4 / 25	砺波市立庄東小学校	児童	庄東小学校6年生	36	森林教室	巣箱掛けの指導
2	19 / 4 / 29	財団法人花と緑の銀行	一般		26	森林教室	樹木観察、シイタケ植菌などの指導
3	19 / 5 / 4	財団法人花と緑の銀行	一般		148	森林教室	樹木観察、シイタケ植菌などの指導
4	19 / 5 / 8	黒部市立宇奈月小学校	児童	宇奈月小学校5年生	58	森林教室	枝打ちなどの指導
5	19 / 5 / 11	立山町立釜ヶ淵小学校	児童	釜ヶ淵小学校6年生	10	出前講座	森林・林業が果たす役割・機能について解説
						森林教室	巣箱掛けの指導
6	19 / 5 / 23	社団法人とやま緑化推進機構	児童	花とみどりの少年団	115	森林教室	森のふしぎ〇×クイズの出題と解説
7	19 / 6 / 16	財団法人花と緑の銀行	一般		30	森林教室	森林の効用、しょうぶ・アヤメ等の解説
8	19 / 6 / 17	財団法人花と緑の銀行	一般		40	森林教室	森林の効用、しょうぶ・アヤメ等の解説
9	19 / 6 / 17	新川学びの森天神山交流館	一般	親子	110	森林教室	木工教室の指導
10	19 / 6 / 19	氷見市立十三中学校	生徒	十三中学校全校生徒	137	出前講座	とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説
11	19 / 6 / 23	財団法人花と緑の銀行	一般		50	森林教室	森林の効用、しょうぶ・アヤメ等の解説
12	19 / 6 / 24	財団法人花と緑の銀行	一般		40	森林教室	森林の効用、しょうぶ・アヤメ等の解説
13	19 / 7 / 13	高岡市立横田小学校	児童	横田小学校5年生	55	出前講座	とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説
14	19 / 7 / 24	社団法人とやま緑化推進機構	児童	花とみどりの少年団	126	森林教室	森のふしぎ〇×クイズの出題」と解説、木工クラフト教室の指導
15	19 / 7 / 25				255		
16	19 / 7 / 26				129		
17	19 / 8 / 10	社団法人とやま緑化推進機構	児童	花とみどりの少年団	106	森林教室	ネイチャーゲームの指導
18	19 / 8 / 21	あそあそ自然学校	一般		43	森林教室	樹木観察等の指導
19	19 / 8 / 25	グリーンツーリズムとやま	一般	親子	12	森林教室	木工教室の指導
20	19 / 8 / 26	北陸ココロラボトリング(株)	一般		300	森林教室	木工教室の指導
21	19 / 8 / 28	あそあそ自然学校	一般		34	森林教室	樹木観察等の指導
22	19 / 8 / 30	魚津市立かめ児童センター	児童	1～3学年	25	森林教室	木工教室の指導
23	19 / 9 / 5	射水市片口小学校	児童	片口小学校6年生	61	出前講座	森林・林業が果たす役割・機能について解説
						森林教室	木工教室の指導
24	19 / 10 / 3	砺波市立庄東小学校	児童	庄東小学校6年生	35	森林教室	炭焼き教室の指導
25	19 / 10 / 14	(財)富山県文化振興財団	一般		7	森林教室	金剛堂山の樹木解説
26	19 / 10 / 20	魚津市環境安全課	一般	親子	28	森林教室	植樹指導など
27	19 / 10 / 22	魚津市立つばめ児童センター	児童	1～2学年	25	森林教室	木工教室の指導
28	19 / 10 / 28	財団法人花と緑の銀行	一般		6	森林教室	飾り炭づくりの指導
29	19 / 10 / 29	富山市立広田小学校	児童	広田小学校4年生	104	森林教室	校内の樹木解説
30	19 / 10 / 31	魚津市立片貝小学校	児童	片貝小学校3年生	10	森林教室	木工教室の指導
31	19 / 11 / 4	新川森林組合	一般		53	出前講座	木の良さ等の解説
32	19 / 11 / 19	魚津市立すずめ児童センター	児童	1～3学年	33	森林教室	木工教室の指導
33	19 / 11 / 28	砺波市立庄東小学校	児童	庄東小学校6年生	34	森林教室	シイタケ植菌の指導
34	19 / 12 / 1	はぎうらおはなしの会	児童		57	森林教室	クラフトの指導
35	19 / 12 / 22	大山商工会	一般	親子	26	森林教室	ミニ門松作りの指導
36	19 / 12 / 22	射水市中太閤山公民館	一般		18	森林教室	ミニ門松作りの指導
37	20 / 1 / 29	小矢部市立津沢小学校	児童	津沢小学校4年生	40	森林教室	竹笛づくりの指導
			児童	津沢小学校5年生	48	出前講座	森林の大切さや働きについて解説
38	20 / 2 / 4	富山県農林水産公社	一般		6	出前講座	森林教室等の企画方法などの解説
39	20 / 2 / 5	富山市立萩浦小学校	児童	萩浦小学校5年生	53	出前講座	とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説
40	20 / 2 / 14	富山市立神保小学校	児童	神保小学校5年生	68	出前講座	とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説
41	20 / 2 / 19	砺波市立庄東小学校	児童	庄東小学校5年生	46	森林教室	巣箱製作の指導
42	20 / 2 / 20	滑川市立南部小学校	児童	南部小学校5年生	37	出前講座	森林・林業が果たす役割・機能について解説
43	20 / 2 / 21	富山市立上滝小学校	児童	上滝小学校5年生	43	出前講座	森林・林業が果たす役割・機能について解説
44	20 / 2 / 25	砺波市立庄東小学校	児童	庄東小学校5年生	46	森林教室	巣箱製作の指導
45	20 / 2 / 29	富山市立大沢野小学校	児童	大沢野小学校5年生	62	出前講座	森林・林業が果たす役割・機能について解説
46	20 / 3 / 27	黒部市立宇奈月小学校	児童	宇奈月小学校1～5年生	16	森林教室	シイタケ植菌の指導
合計					2,847		

『森の寺子屋』開催状況



開催日	平成19年5月23日
開催場所	黒部市 宮野運動公園
開催内容	花とみどりの少年団を対象に『森のふしぎ〇×クイズ』を実施



開催日	平成19年6月19日
開催場所	氷見市立十三中学校（体育館）
開催内容	全校生徒を対象に、とやまの森のすがたや森林の働きについて解説



開催日	平成19年7月13日
開催場所	高岡市立横田小学校（視聴覚教室）
開催内容	5年生社会科授業として、とやまの森のすがたや森林の働きを解説



開催日	平成19年8月30日
開催場所	魚津市立かもめ児童センター
開催内容	夏休み中の学童保育として、木工教室を実施



開催日	平成19年10月28日
開催場所	県民公園頼成の森
開催内容	一般県民を対象に、飾り炭づくりの指導を実施



開催日	平成20年2月21日
開催場所	富山市立上滝小学校
開催内容	5年生を対象として、森林の働き解説・林業用機材の使用体験を実施

- とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進 -

県産材利用促進事業

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を進めます。

平成19年度事業の実績

(1) 県産材くつろ木事業

公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置しました。

・設置数 公共交通機関 22基 公共施設 138基

(2) 森の玉手箱プレゼント事業

県内全ての幼稚園、保育園や児童・福祉施設等に県産材積木を配布しました。

・配布施設数 591施設(1200セット)

(3) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

・実施施設数 4施設(青雲幼稚園 みつば幼稚園 牧野幼稚園 井波第一保育園)

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業

小学校の学童机天板を県産材天板に置換えました。

・実施小学校数 4校(広田小学校 上滝小学校 横田小学校 津沢小学校)

(5) 木の香るまちづくり事業

公共施設の内装の木質化に支援しました。

・実施施設数 2施設(めひの野園 ルンビニ園)

(6) 県有施設木質化事業

県有施設の整備の際に県産材を使用しました。

・実施施設数 2施設(山室交番 女性相談センター)

(7) 県産材利用シンボルマーク募集事業

県産材を広くPRするためのシンボルマークを制定しました。



県産材シンボルマーク



駅の待合室などに県産材ベンチを設置しました。



県下全ての幼稚園、保育所等に県産材の積木を配布しました。

県産材利用促進事業

1 事業の実施と利用状況（平成20年6月現在）

（1）県産材くつろ木事業

公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置

- ・ベンチコンペ応募数 111点
- ・最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点選定
- ・ベンチ設置応募数218施設 791基
- ・ベンチ設置数
 - 公共交通機関 5機関 22基
 - 公共施設 107施設 138基
- ・設置時期 10月～3月



（2）「森の玉手箱」プレゼント事業

幼稚園、保育所等に県産材積木を配布

- ・配布先 591施設 1,200セット
- ・配布時期 12月
- ・積木を活用したイベント開催への支援
富山県こどもエコクラブ交流会において県産材積木を活用



（3）県産材こどもの城づくり事業

園児デザインによる木製遊具（こどもの城）を親子の協力により製作・設置

- ・応募施設 4施設
- ・実施施設 4施設
 - 青雲幼稚園（富山市）
 - みつば保育園（高岡市）
 - 牧野保育園（高岡市）
 - 井波第一保育園（南砺市）
- ・実施期間 8～11月



（４）森に親しむ学び舎づくり事業

小学校学童用机を県産材に置き換え

- ・ 応募小学校 4校
- ・ 実施小学校 4校 1,084枚
 広田小学校（富山市）
 上滝小学校（富山市）
 横田小学校（高岡市）
 津沢小学校（小矢部市）
- ・ 設置時期 12～2月



（５）木の香るまちづくり事業

県内の公共施設等に対して、県産材を使用した内装の木質化に対して支援

- ・ 応募施設 2施設
- ・ 実施施設 2施設
 めひの野園（富山市）
 ルンビニ園（富山市）



（６）県有施設木質化事業

県有施設の新築施設を対象に、県産材による整備を実施。

- ・ 実施施設 2施設
 山室交番（富山市）
 女性相談センター（富山市）



（7）県産材シンボルマーク募集事業

県産材をPRするためのシンボルマーク
を制定し、県産材製品などに使用

- ・応募数 1,672点
- ・最優秀賞1点、優秀賞3点選定
- ・最優秀賞作品をシンボルマークとして制定し、9月に公表
- ・とやま県産材シンボルマークの使用に関する規程により、利用者への対応を図る



2 評価方法等について

（1）評価方法

- ・県産材製品設置施設の施設管理者などへのアンケート調査を行い、その結果を踏まえ評価する。（アンケート項目は別紙のとおり）
- ・県産材シンボルマークについては、規程にもとづく利用承認件数により評価する。

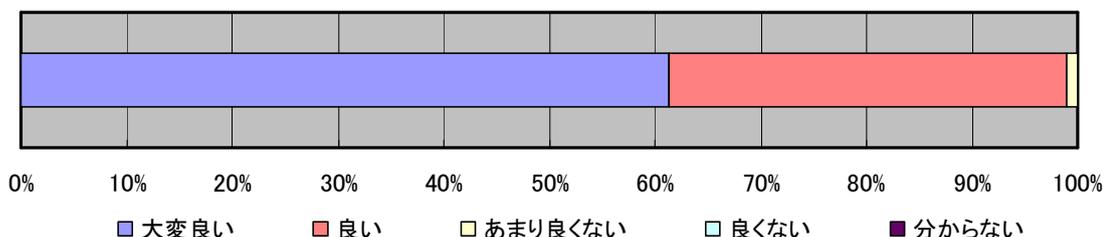
（2）評価時期

- ・事業実施の年度内にアンケート調査を行い、翌年5月に評価する。
- ・県産材シンボルマークについては、5年経過後に評価する。

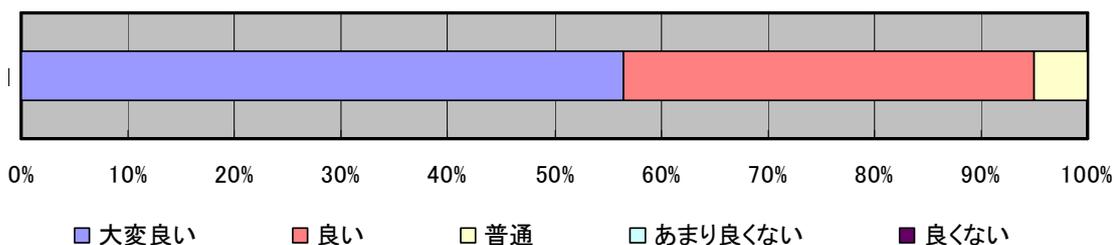
県産材くつろ木事業（県産材ベンチ設置）に対するアンケート結果

合計 101 公共施設より回答

1 県産材を使ったベンチを公共施設等に設置したことについて、どう思いますか。



2 あなたから見た県産材ベンチに対する印象はどうですか。



3 ベンチ利用されている方々の様子はどう感じられますか。（主なものを記載）

- ・親子で座って話をしている姿を良く見かける。座ってみたいくなるようなベンチである。
- ・休み時間や放課後に休憩するのにとても良く、子供たちや保護者から好評である。
- ・しっかりしたベンチなので、ゆったりとした様子で、落ち着いて利用している。
- ・寝そべる姿はあまり見られず、ちゃんとすわり腰掛けて寛いでいる。
- ・見た人達皆が感動している、地区民みんなで重宝している。
- ・珍しいつくりなので大変好評、どこで買えるのかという質問が多かった。

4 スチール製などのベンチと比べて、今回設置した県産材ベンチの良い点と悪いと思われる点を記載してください。

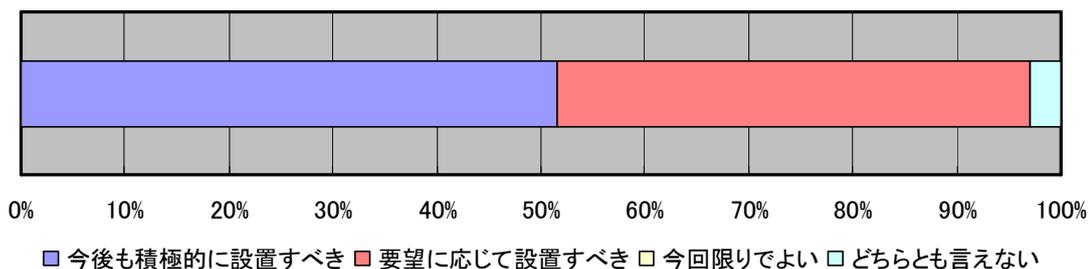
（良い点）

- ・木の温かみがある
- ・独特の柔らかさがある
- ・見た目の優しい感じがある
- ・冬でも（表面が）冷たくない
- ・自然公園の景観にマッチしている
- ・頑丈なので長持ちしそう
- ・重いので盗難に遭いにくい

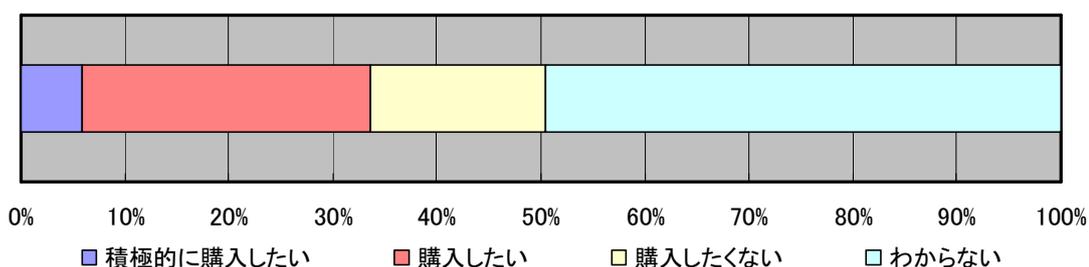
（悪い点）

- ・屋外で使用できない
- ・汚れが取れにくい
- ・重いので移動が不便
- ・高価そうである
- ・時間がたつと木が収縮し、木と木の間隙が大きくなる
- ・高齢者が長時間座るにはお尻が痛くなる
- ・表面が粗く、洋服が引っかかりそう

5 県民の方々に県産材をPRする目的で、公共施設や公共交通機関にこのような県産材製品を設置することについてどう思いますか。



6 今回設置した県産材ベンチを個人的に購入してみたいと思われましたか。



いくらなら購入しても良いですか？（購入したいと答えた人の回答）

8,800円（平均） 1,000円（最低） 20,000円（最高）

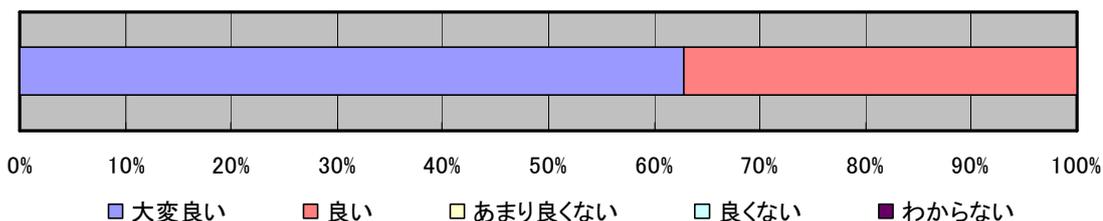
7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。（主なものを記載）

- ・購入ルート、妥当な価格か、量は確保できるか、情報があると良い
- ・他の公園施設（東屋、生垣）にも活用して欲しい
- ・今回のベンチより長さの短いものも用意してもらえれば活用幅が広がる
- ・余裕があれば椅子、テーブル等色々なものを設置してほしい
- ・県産材をPRするためには目立たないと駄目なので大量に支給すべき
- ・学校や公民館など公共施設にどんどん活用したほうが良い
- ・コストをかけ過ぎない程度に積極的に活用するのが良い、使った分だけ地域で植林を進めるのが良い

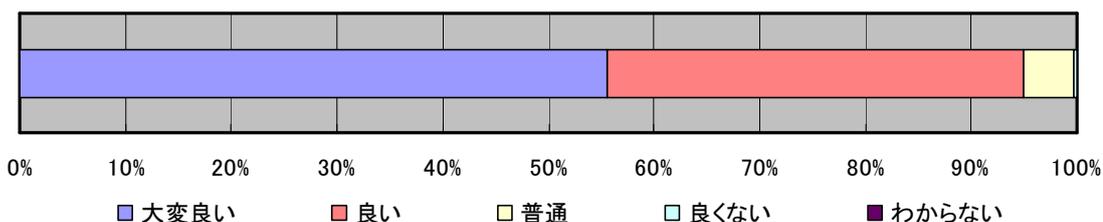
「森の玉手箱」プレゼント事業（県産材積木）に対するアンケート結果

延べ301施設（幼稚園、保育園等）からの回答

1 県産材を使った積木を保育園・幼稚園などに配布したことについて、どう思いますか。



2 あなたから見た県産材の積木に対する印象はどうか。



3 使っている子供たちの様子はどうか。（主なものを記載）

- ・「いいにおいがする」とにおいをかぎながら遊ぶ姿が見られた。
- ・積木を並べたり、高く積み重ねたり、また組み合わせて家などを作って遊んでいた。
- ・積木に刻印してある木の名前を読みながら、覚えたりしていた。
- ・片付けで箱に詰めるときも、形の違う積木を組み合わせたりして、パズルのように楽しんでいる。
- ・木の手触りが違うのを比べたり、木の名前を見て図鑑でどんな木か調べたりしている。
- ・積木を投げる子供もいて注意が必要だった。大人の監視が必要だった
- ・積木同士を拍子木のように打ちつけて、音を鳴らすことを楽しんでいた。

4 プラスチック製の積木と比べて、県産材の積木の良い点と悪いと思われる点を記載してください。

（良い点）

- ・手触りや見た目（木目、年輪）が自然で良い
- ・名前の焼印により木の種類を知ることができる
- ・自然のものなので安心感がある
- ・欠けにくく丈夫である
- ・使っていて木のぬくもりが感じられる
- ・木の香りが心地よく癒し効果がある
- ・面取りしてあり、丁度良い大きさである

（悪い点）

- ・汚れると水や洗剤で洗っても落ちにくい
- ・子供はよくなめると濡れると渴きが遅い。
- ・木製品は比較的高価であると思う
- ・やや硬いのでぶつかってケガをする恐れがある
- ・色彩感がない
- ・重さがあり、0～1歳時には使えない

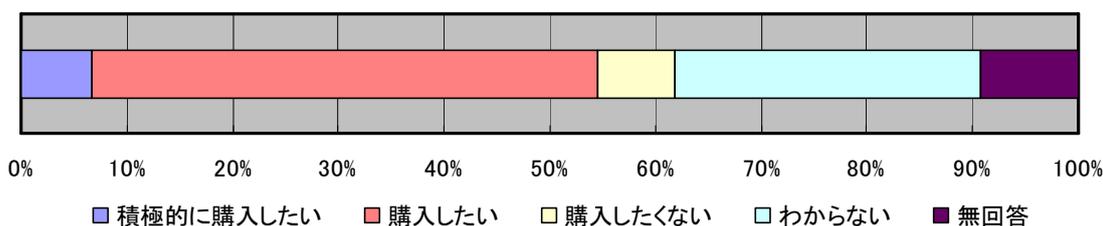
5 子供たちに、木の良さに触れてもらえるよう、保育園や幼稚園などにあったらよいと考えられる木材

製品は何ですか。(表内の数値は票数を示す)

椅子	ままごと道具	ベンチ	パズル	机
101	92	77	68	62

テーブル	家(ミニチュア)	車(ミニチュア)	電車(ミニチュア)	すべり台
60	50	34	13	11

6 今回配布しました県産材の積木を個人的に購入してみたいと思いましたが。



いくらなら購入しても良いですか？ (購入したいと答えた人の回答)

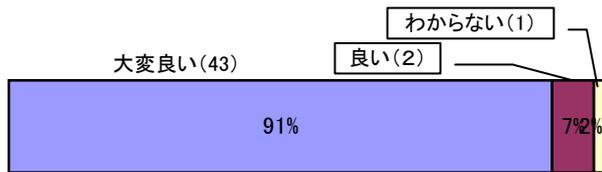
1,710円 (平均) 500円 (最低) 5,000円 (最高)

7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。(主なものを記載)

- ・地域の林業の活性化のためにも地球温暖化防止のためにも地産地消を促進することは良い。
- ・幼い頃から自然物(木)に親しむことで自然を大切にする気持ちや地球環境のことが理解できる。
- ・県産材を利用した大型遊具が必要となるのではないかな。
- ・廃材など利用して安価でこのような積み木等を提供すると良い。
- ・木の素材に触れることが少ないので、今後も色々な木のおもちゃを提供して欲しい。
- ・木の利用を通して県内にも色々な種類の樹木があることを教えて欲しい。

平成19年度 県産材こどもの城づくり事業 アンケート集計(対象者:施設職員)

Q.1 県産材を使った「こどもの城」を保育園・幼稚園などに設置することについて、どう思いますか。



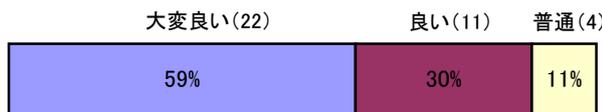
Q.2 あなたから見た「こどもの城」に対する印象はどうか。象はどうか。



主な意見

- ・園の環境に自然に溶け込んでいると感じる
- ・木材をたっぷり使い、温かみがある
- ・本物の木でできていることが素晴らしい
- ・存在感がある
- ・木のぬくもりが伝わり園庭の雰囲気が変わった

Q.3 「こどもの城」の製作にあたり、父母の方々にもご協力をいただきましたが、父母の皆さんの感想・意見はどうでしたか。



Q.4 使っている子供たちの様子はどうか。

- ・大切にしようと靴を脱いで遊んでいる
- ・友達同士で遊び方を工夫している
- ・「木の匂いがする」と五感を感じながら遊んでいる
- ・自分たちで作ったもので、大切に使用しようとする姿が見られる
- ・自分たちが考えた家が実際に建てられてとても喜んでいる

主な意見

- ・親子のコミュニケーションが取れた
- ・普段できない体験ができた
- ・いろいろな経験ができ思い出になった
- ・日程の決定が遅い

Q.5 遊具に県産材を使用することについて、良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

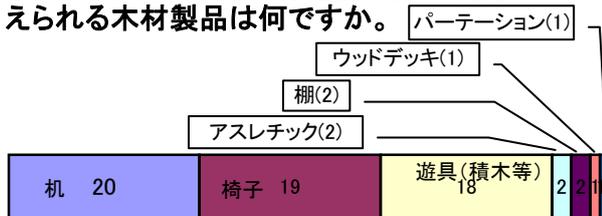
(良い点)

- ・木のやさしさ、温かさに触れ合えること
- ・転んだり、ぶつかっても衝撃が少ない
- ・自然を身近に感じられる
- ・木のいい匂いがする
- ・園庭の自然になじむ

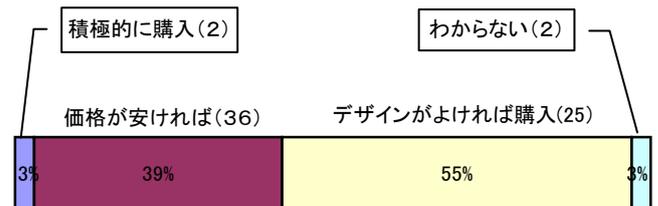
(悪い点)

- ・古くなったときの安全性
- ・メンテナンスの問題
- ・とげがささる
- ・耐用年数の短さ
- ・強度が弱いのでは…

Q.6 子供たちやその家族に木の良さに触れてもらうために、保育園や幼稚園にあったらよいと考えられる木材製品は何ですか。



Q.7 県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を個人的に購入したいと思いますか。



Q.8 今回、「こどもの城」の導入と併せて開催した、森の見学会の感想をお書きください。

(晴雲幼稚園)

- ・森の持つ多様な働きをもっと考えるべき
- ・森林整備の必要性が理解できた
- ・園児には内容が難しい

(牧野保育園)

- ・木を使うことに積極的になりたいと思った

(みつば保育園)

- ・森林や木材の知らなかったことについて勉強できた

(井波第一保育園)

- ・子供には内容が難しい
- ・家作りだけでなく見学会があったから、木や森の大切さが理解できた

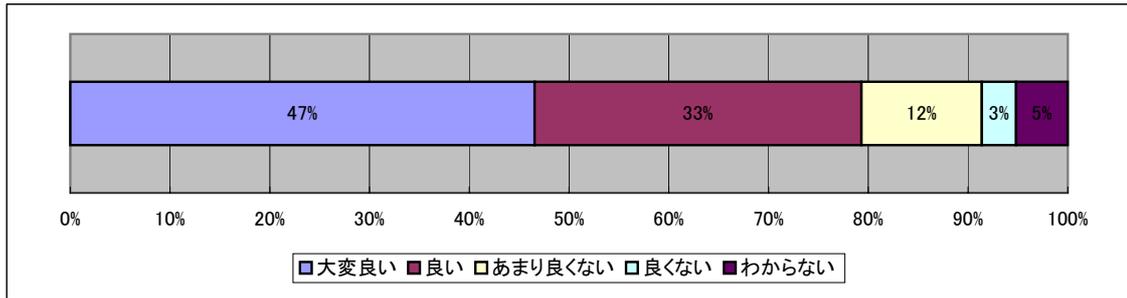
Q.9 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・もっとPRすることが必要
- ・個々の要望を取り入れたオーダー的な製品ができれば需要が増えるのでは
- ・県産材の材質の良さをもっとPRすべき
- ・このような活動を地道に続けることで「県産材」の名称が定着するのではないか

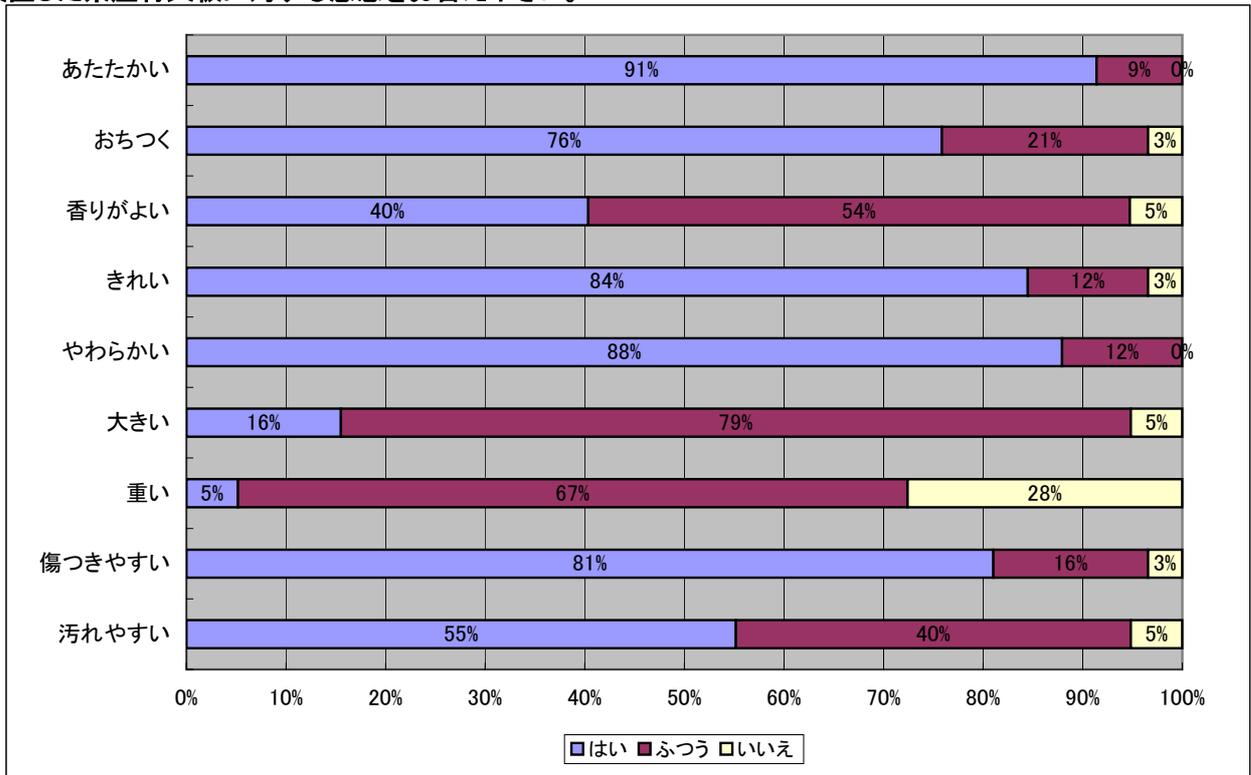
(4) 森に親しむ学び舎事業 アンケート集計(教職員用)

回答数	上滝小学校	14	津沢小学校	17	計	58
	広田小学校	14	横田小学校	13		

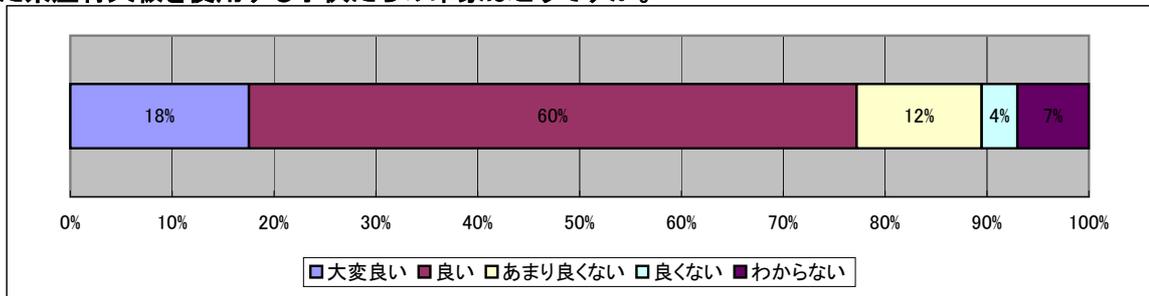
Q.1 県産材を使った天板を導入したことについて、どう思いますか。



Q.2 設置した県産材天板に対する感想をお答え下さい。



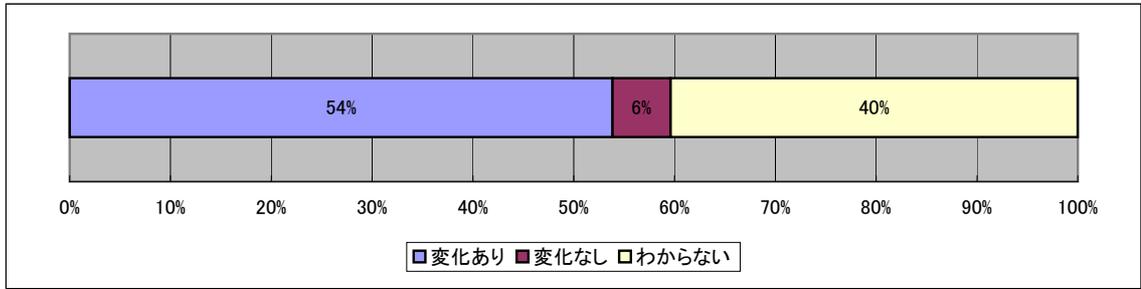
Q.3 設置した県産材天板を使用する子供たちの印象はどうですか。



主な意見

- ・綺麗になって喜んでいる
- ・大変柔らかいためすぐに傷がつく。机上で下敷き等を必ず必要とすることが不便
- ・実際に自分たちが取り付けた天板であるので、少しの傷に対しても敏感な反応をするようになった。大切に使っている。
- ・傷・穴・落書きなどがなくなり、気持ちが落ち着く、気持ちがよいなど喜んでいる。また明るい色なので汚れが目立ち、いつも綺麗にしようと思っている。取り付けてくださった方への感謝の気持ちを持ち、大切にしようという気持ちが育った。
- ・机を大切に扱おうとする姿が見られますが、どうしても傷がついてしまい、責任を感じたり抵抗をもつ子どももいます。

Q.4 天板を導入したことにより、子供たちの様子や意識に変化がみられましたか。



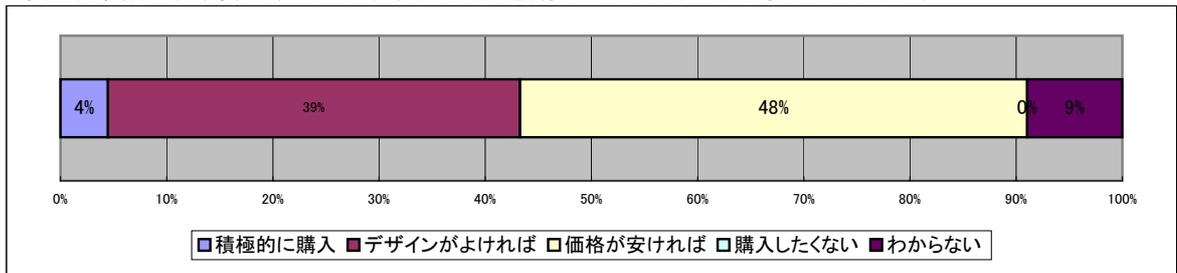
Q.5 4で「変化がみられた」と答えられた方にお聞きします。具体的にどのような変化がみられたかをお書き下さい。

- ・学習に対する意欲が高まった。
- ・柔らかいため、使い方が丁寧になった。
- ・落書きをしなくなった。
- ・自分のものである意識が強くなり大切に使う子が増えた。下敷きを使う子が増えた
- ・富山県の木で作ったものであるという意識を持たせることができよかったと思う。

Q.6 子供たちに木の良さに触れてもらうために、学校にあったらよいと考えられる木材製品は何ですか。

ベンチ	23	本棚(棚)	18	遊具(おもちゃ)	10	テーブル	5	机・椅子	5
食器	3	ウッドデッキ	2	プランター入	2	床	1	腰板	1
手摺	1	彫刻	1	生き物小屋	1	木製ドア	1		

Q.7 個人でも県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を購入してみたいと思われましたか。



Q.8 県産材の利活用に対する意見があれば記載してください。

(小矢部市立津沢小学校)

- ・今回は無償提供ということで、交換も非常に速やかでありがたかったです。地産地消とうたわれる中、考えて実行するようになっていかなければと思いました。
- ・大変ありがたい。
- ・間伐材も積極的に商品化するなど、無駄にしない工夫があればよいのではないかと。

(富山市立上滝小学校)

- ・金具を使ったものより、全部木の手作りがよい。廃材でもっと安価に作って販売されたらどうか。私は年3回くらい廃材で小物を作って使用しているが、気分的にゆとりを感じる。
- ・天板はすぐ傷つくものなので、定期的に変えていただけるとありがたいです。
- ・今後の活用を望みます。
- ・地元の木材を利用することはとても良いと思います。

(富山市立広田小学校)

- ・県産材についてあまり知らないなので、もっと広報活動をされたら良いと思います。
- ・材質に合った活用の仕方を工夫したほうがよい。
- ・堅い木材の使用も考えてほしい。
- ・机にするのに合った堅い木材を使ってあればとても良いと思う。
- ・木材の柔らかさ等を考慮して目的に合う使い方を考えればよい。

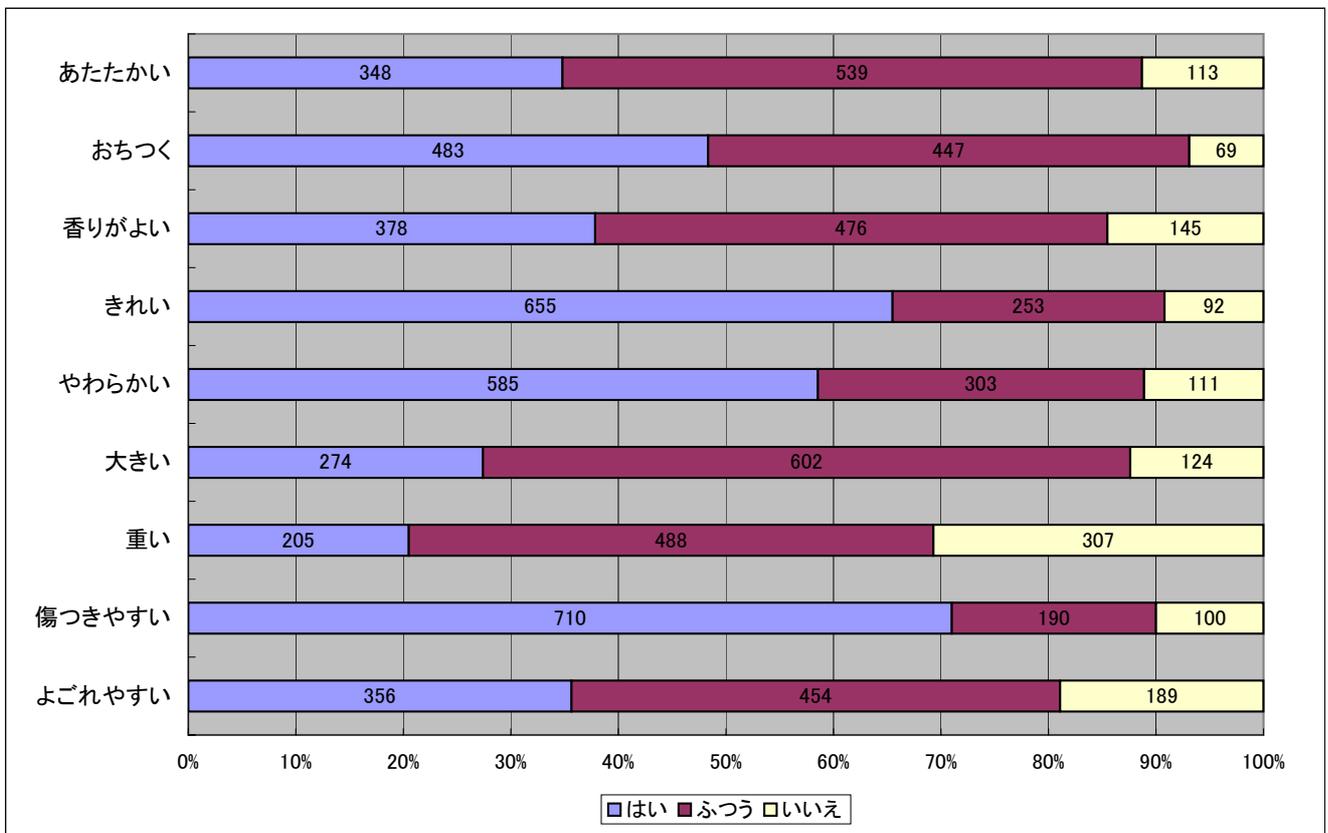
(高岡市立横田小学校)

- ・山を守るためにも、間伐材を有効に活用していくことが大切と思われまます。

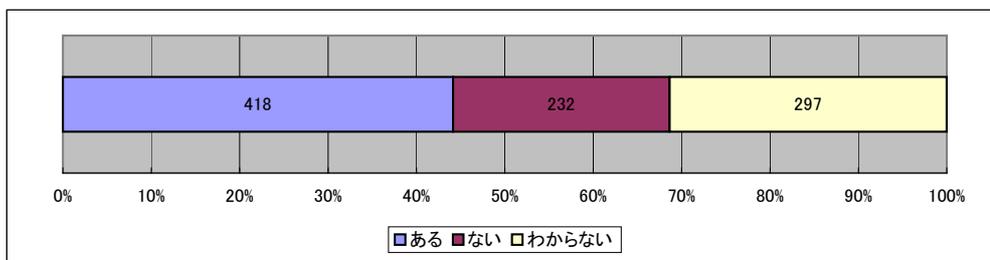
(4) 森に親しむ学び舎事業 アンケート集計(児童用)

回答数	上滝小学校	207	津沢小学校	266	計	1000
	広田小学校	285	横田小学校	242		

1. 天板に対する印象



2. 木に対する興味

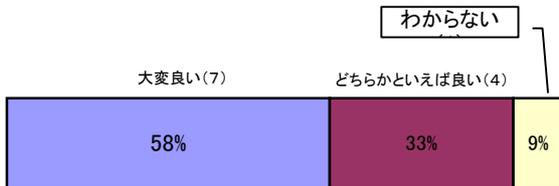


主な自由意見

- ・傷がつきやすいけど、落ち着くしあたたかい。(津沢小2年生)
- ・きれいで使いやすいけど、傷つきやすいから少しがっかり。(津沢小4年生)
- ・前の机より傷つきやすくなったかもしれないけど、とても落ち着けるのでいい机だと思います。私は森林が好きなのでうれしいです(津沢小5年生)
- ・新しくなって暖かくて落ち着くのでうれしかった。傷がつきやすくて汚れやすくてよくない(上滝小2年生)
- ・汚さないように気をつけた。きれいになってすっきりする。白くなって気持ちがいい。(上滝小4年生)
- ・ぶつけたりするだけで傷がついてしまいそう。動かすときに困る(上滝小6年生)
- ・柔らかく、傷がつきやすいため文字が写る。香りがよく集中しやすい。(広田小4年生)
- ・傷つきやすいけど綺麗な色で香りがよくて落ち着きます。県産材を使った机を使えて嬉しいです。机は重くないから良いと思う。(広田小5年生)
- ・初めて教室に入るときはスギの香りがしてとても気持ちよかった(広田小6年生)
- ・テストやプリントをしていると、絶対に下敷きをひかなければならないし、もしひかなかつたらすぐ傷つく。木にきれいな模様があつても落ち着く(横田小4年生)
- ・柔らかいのですぐ傷つく。でも綺麗な木ということで落書きは減った。富山県の木ということで心がうきうきする。(横田小6年生)

平成19年度 木の香るまちづくり事業 アンケート集計(対象者:施設利用者)

Q.1 県産材を使って、建物の内部を木質化したことについて、どう思いますか。



Q.2 クロス張りなどの内装と比べて、木材(県産材)を使った内装の良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

(良い点)

- ・温かみがある
- ・湿気を取ってくれる
- ・香りが落ち着く
- ・通気性が良い

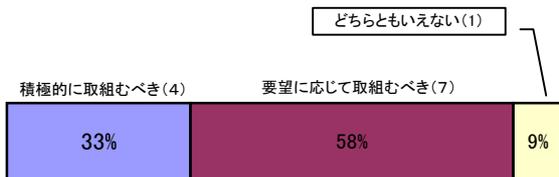
(悪い点)

- ・メンテナンスが必要
- ・掃除が面倒
- ・高価
- ・キズなどへの対応が難しい

(主な意見)

- ・人間の体に良いと思う
- ・おしゃれな感じで良いと思う

Q.3 このような公共施設等の内装木質化の取組みをもっと進めるべきと考えますか。



Q.4 あなたの住んでいる住宅において、このような内装木質化を図ってみたいと思われましたか。



Q.5 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・もっと木を活用して欲しい

平成19年度 木の香るまちづくり事業 アンケート集計(対象者:施設従業員)

Q.1 県産材を使って、建物の内部を木質化したことについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た県産材を使った内装木質化に対する印象はどうですか。



(主な意見)

- ・昔懐かしい感じがする
- ・やさしい印象で温かい感じがする
- ・落ち着いた感じ

Q.3 クロス張りなどの内装と比べて、木材(県産材)を使った内装の良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

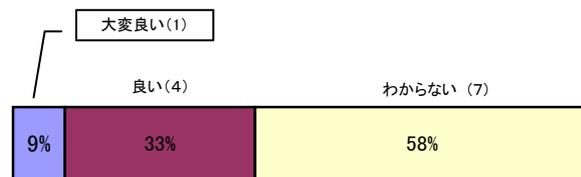
(良い点)

- ・個人的な好み
- ・温かみがある
- ・柔らかい感じ
- ・穏やかな気持ちになる

(悪い点)

- ・コストが高そう
- ・掃除がしにくい
- ・板の継ぎ目にゴミがたまる
- ・汚れたら張替えできない
- ・汚れやすい

Q.4 県産材を使った内装木質化に対する利用者の印象はどうですか。



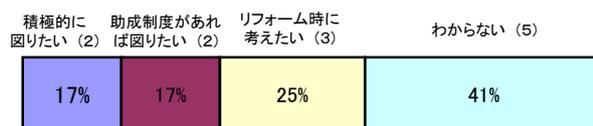
(主な意見)

- ・あまり関係ないようである
- ・色が落ち着くようだ

Q.5 県民の方々に県産材をPRする目的で、公共施設等の内装の木質化を図ることについてどう思いますか。



Q.6 あなたの住んでいる住宅において、このような内装木質化を図ってみたいと思われましたか。



Q.7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・無理やり切ることのない程度に利用して欲しい

- とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進 -
県民による森づくり提案事業

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが自ら企画・立案し、実施する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、事業への反映を検討します。

平成19年度事業の実績

(1) 県民実施事業への支援

県内で活動する団体やグループ等から、自ら企画・立案し、実施する森づくり事業を募集し、富山県水と緑の森づくり会議で採択し、支援を行ないました。

【採択状況】

・ 応募件数15件 採択件数15件

(2) アイデア提案の募集

県民から、水と緑の森づくり税を活用した県が行なう事業のアイデアを募集し、富山県水と緑の森づくり会議で審査し、平成20年度事業などへの反映を検討しました。

【応募状況等】

・ 応募件数14件 うち5件について20年度事業への反映を検討



地域で伐採した風倒木を利用してテーブルやイスを製作し、公園に設置されました。
(綾子里山再生利用の会)



被害林の整備や森林の大切さについて学ぶ森林教室を開催されました。
((財)オイスカ 富山県支部)

平成19年度 県民による森づくり提案事業（県民実施事業提案）一覧表

番号	事業名	実施団体名	県補助金額	参加人数
1	親子森づくり探検ツアー	あそあそ自然学校	659 千円	28 名
2	上野本の森	上野本の森を楽しむ会	1,000 千円	7 名
3	とやまの木住まいづくりセミナー等開催事業	NPO 法人 とやまの木で家をつくる会	614 千円	約 225 名
4	「風の子の森」整備 森づくりボランティア活動	財団法人 オイスカ 富山県支部	195 千円	79 名
5	ホーライサン里山再生プロジェクト	NPO 法人 森林総合支援センター	800 千円	230 名
6	富山県杉間伐材利用推進事業	富山県杉間伐材利用推進グループ	199 千円	176 名
7	飯久保山「きずなの森」づくり	十三中学校育友会	147 千円	275 名
8	飯久保山「次世代に継ぐ森」づくり	火見城発伸の会	771 千円	394 名
9	「きずなの森」の整備	湖南小学校 PTA	57 千円	44 名
10	南砺の山々を守る炭焼き	NPO 法人 南砺の山々を守る実行委員会	987 千円	314 名
11	風倒木を利用した綾子町内コミュニティづくり	綾子里山の再生利用の会	215 千円	31 名
12	南砺市細野地区内、馬向谷の歩道の復活	細野自治会	104 千円	20 名
13	2007 とやま竹フェスティバル	呉羽丘陵 森の楽校	635 千円	621 名
14	森林資源の利活用を促進する事業	夢創塾	778 千円	841 名
15	森づくりフォーラム	アースデイとやま2007にかかわ実行委員会	1,000 千円	650 名
計			8,161 千円	約 3,935 名

《 事業概要 》

1. 実施団体名	あそあそ自然学校
2. 事業名	親子森づくり探検ツアー
3. 事業目的	目的は、森の大切さを学ぶこと。この事業は、富山県内の小学生親子等を対象に参加者をチラシやメディア広報により公募し、森林環境教育に関する講師と一緒に森づくりの現場を訪ね、森の大切さについて体験を通じて学ぶ。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 親子森づくり探検ツアーの実施（1回） ② 普及PRチラシの配布（1回） ③ マスメディアによる普及啓発（1回） ----- ・参加人数：28名
5. 実施場所	富山市吉野地区
6. 事業期間	平成19年9月3・29日
7. 事業費 (県補助金)	813,330 円 (659,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞取り)	ツアー参加者や普及PRチラシを配布した小学生及び新聞広告の読者に、森の大切さを普及啓発することができた。

《 実施状況写真 》



とやまの森 見学 ①



とやまの森 見学 ②



婦負森林組合木材加工センター 見学



県産スギ材でのマイ箸づくり

《 事業概要 》

1. 実施団体名	上野本の森を楽しむ会
2. 事業名	上野本の森
3. 事業目的	間伐材を利用して林内に展望台を製作し、一般に開放することで、里山及び木の良さに触れてもらう。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	間伐材を利用した展望台を製作し、一般開放（2基） ----- ・参加人数：7名
5. 実施場所	小矢部市上野本地内
6. 事業期間	平成19年6月1日～平成20年2月15日
7. 事業費 (県補助金)	1,615,176 円 (1,000,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	展望台から荒廃した森林の状況を見た一般の方々に、木の良さや森林整備の必要性を認識してもらうことができた。

《 実施状況写真 》



着手前



完成

《 事業概要 》

1. 実施団体名	NPO 法人 とやまの木で家をつくる会
2. 事業名	とやまの木住まいづくりセミナー等開催事業
3. 事業目的	林業関係者・製材所・工務店・建築家・生活者がお互いに顔の見える関係で取り組むとやまの木を活用した家づくりの良さと必要性をPRするとともに、安心して暮らせる持続可能な地域循環社会を創り、とやまの森林に元気を取り戻し、森林と人との絆を深めることに寄与すること。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 講演会（林業・環境について）（1回） ② セミナー（家づくりに関する情報提供・現地見学会）（6回） ----- ・参加人数：約 225 名
5. 実施場所	富山市内（サンシップとやま 他）
6. 事業期間	平成 19 年 6 月 3 日、7 月 8 日～10 月 14 日
7. 事業費 (県補助金)	752,195 円 (614,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	森林の大切さやとやまの木で家を建てるのが環境負荷の低減に繋がるのが、参加者に理解された。

《 実施状況写真 》



講演会



セミナー



セミナー（森林の見学）



セミナー（住宅完成見学会）

《 事業概要 》

1. 実施団体名	財団法人 オイスカ 富山県支部
2. 事業名	「風の子の森」整備 森づくりボランティア活動
3. 事業目的	防風林の森林整備を行い、森林保全・緑化の意義を普及する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① マツクイムシ被害林の支障木の処理と植栽 (0.1ha) ② PR看板の設置 (地元間伐材を利用) (1基) ③ 森の大切さについて学ぶ森林教室 (1回) ----- ・参加人数：79名
5. 実施場所	富山市下夕林地内
6. 事業期間	平成19年10月27・28日
7. 事業費 (県補助金)	195,327 円 (195,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	活動に参加した次代の担い手である青少年に対して、森づくりの必要性を更に普及啓発することができた。

《 実施状況写真 》



支障木の処理



植栽状況



PR看板



森林教室

《 事業概要 》

1. 実施団体名	NPO 法人 森林総合支援センター
2. 事業名	ホーライサン里山再生プロジェクト
3. 事業目的	インタープリターとして地域住民が協働して、従前の里山の生態系を取り戻すべく「里山再生モデル林」の構築に取り組み、これをモデル事業として県内に普及する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 県産材による休憩小屋の整備（1棟）及び周辺の支障木伐採、間伐、枝打の実施 ② 森林内の案内看板・標識の整備（3基） ----- ・参加人数：230名
5. 実施場所	富山市婦中町吉谷地内
6. 事業期間	平成19年6月16日～平成20年2月28日
7. 事業費 (県補助金)	1,115,146 円 (800,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	「里山再生モデル林」構築の活動拠点となる小屋や森林の整備、看板の設置を行い、近隣住民と協働して取り組む基盤をつくることができた。また、この作業を通じて参加者の技術レベルを向上させるとともに、森林の大切さに対する理解を深めることができた。

《 実施状況写真 》



森林整備活動状況



子供たちによる皮はぎ体験



県産材休憩小屋建設状況



休憩小屋完成

《 事業概要 》

1. 実施団体名	富山県杉間伐材利用推進グループ
2. 事業名	富山県杉間伐材利用推進事業
3. 事業目的	地元の杉間伐材を通じた工作を通じて、子供達に自然の良さや温かみを伝えるなど、木材の利用に係る普及啓発を図る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 間伐材を利用した工作授業（12 時間） ② 親子で間伐材を利用した工作活動（2 回） ③ 工作作品の展示（1 回） ----- ・参加人数：176 名
5. 実施場所	富山市八尾町高善寺 162 番地（富山市立保内小学校） 富山市西中野町 1-16-12（富山県立近代美術館）
6. 事業期間	平成 19 年 9 月 3 日～平成 20 年 1 月 27 日
7. 事業費 (県補助金)	203,461 円 (199,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	杉間伐材を使用した工作活動と子供達の想像力豊かな作品の展示を通じて、自然素材としての木の温かみや環境の大切さを感じてもらい、とやまの森林を考えるきっかけとすることができた。

《 実施状況写真 》



製作状況 ①



製作状況 ②



作品 ①



作品 ②

《 事業概要 》

1. 実施団体名	十三中学校育友会
2. 事業名	飯久保山「きずなの森」づくり
3. 事業目的	「きずなの森」づくりを通じ、地域と学校との連携を深め、郷土や自然を愛する心情を培う。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 遊歩道整備（30m）及びイスの設置（5基） ② 動植物の観察会（3回） ----- ・参加人数：275名
5. 実施場所	氷見市飯久保地内
6. 事業期間	平成19年6月30日～平成19年11月29日
7. 事業費 (県補助金)	147,593 円 (147,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	遊歩道整備・イスの設置や動植物の観察会を通じて、「きずなの森」を憩いの場として大切に整備していきたいという気持ちや森の恵みに感謝する気持ちを生徒達に感じてもらうことができた。

《 実施状況写真 》



支障木の処理



イスの製作



遊歩道整備（完成）



動植物の観察会

《 事業概要 》

1. 実施団体名	火見城発伸の会
2. 事業名	飯久保山「次世代に継ぐ森」づくり
3. 事業目的	森林整備を行い、地域の歴史・文化に根付いた総合教育の場及び憩いの場としての里山を創る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 森林整備 (0.05ha) ② 遊歩道整備 (木道 25.2m、階段 33 段) ③ 竹ドームコンサート (1 回) ----- ・参加人数：394 名
5. 実施場所	氷見市飯久保地内
6. 事業期間	平成 19 年 6 月 30 日・7 月 1 日、7 月 11 日～8 月 18 日、 10 月 1～5 日
7. 事業費 (県補助金)	961,449 円 (771,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	台風被害林の整備や付近の竹林を利用したコンサートを通じ、地域・子供たちが一体となって、地域に根差した里山創りを実施することができた。

《 実施状況写真 》



森林整備



遊歩道整備 (木道)



遊歩道整備 (階段)



竹ドームコンサート

《 事業概要 》

1. 実施団体名	湖南小学校 PTA
2. 事業名	「きずなの森」の整備
3. 事業目的	森林整備を通じて森を愛する心を育む。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	森林内の竹・支障木の伐採 (0.05ha) ----- ・参加人数：44名
5. 実施場所	氷見市神代地内
6. 事業期間	平成19年8月18日
7. 事業費 (県補助金)	57,770 円 (57,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	竹・支障木の伐採により、馴染みのある地元の森林を整備することができた。また、自然の中での作業体験を通して、参加した児童に森の大切さを伝えることができた。

《 実施状況写真 》



作業前



作業状況 ①



作業状況 ②



作業状況 ③

《 事業概要 》

1. 実施団体名	NPO 法人 南砺の山々を守る実行委員会
2. 事業名	南砺の山々を守る炭焼き
3. 事業目的	カシノナガキクイムシ被害の拡大防止と被害を受けた里山再生のため、被害木を伐採・活用とする。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① カシノナガキクイムシ被害木の伐採（75ha） ② 伐採被害木を活用した炭焼き活動（5回） ----- ・参加人数：314名
5. 実施場所	南砺市小二又・才川七地内
6. 事業期間	平成 19 年 8 月 20 日～平成 20 年 2 月 10 日
7. 事業費 (県補助金)	1,649,189 円 (987,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞取り)	カシノナガキクイムシ被害の拡大防止に貢献し、被害を受けた里山再生のため、被害木を伐採し、木炭にして活用した。

《 実施状況写真 》



被害木の伐採・集材



集材・木割り作業



窯入れ



窯出し・梱包

《 事業概要 》

1. 実施団体名	綾子里山の再生利用の会
2. 事業名	風倒木を利用した綾子町内コミュニティーづくり
3. 事業目的	町内付近の里山の風倒木の整理や、これを活用したテーブル・イスの製作及び町内の公園への設置を行い、地域コミュニティーの形成に役立てる。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 風倒木の伐採 (450m ²) ② 伐採木を活用したテーブル・イスの製作・設置 (4組) ----- ・参加人数：31名
5. 実施場所	小矢部市蓮沼・綾子地内
6. 事業期間	平成19年6月2日～7月26日
7. 事業費 (県補助金)	224,897 円 (215,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	住民協働作業による風倒木の整理とこれを活用してのテーブル・イスの製作により、里山の状況を改善し、住民の親睦を深めることができた。また、風倒木被害の状況について認識を共有し、里山について話し合うことができた。

《 実施状況写真 》



支障木の処理



製作状況



設置状況



活用状況

《 事業概要 》

1. 実施団体名	細野自治会
2. 事業名	南砺市細野地区内、馬向谷の歩道の復活
3. 事業目的	荒廃した歩道を復活し、集落後背に位置する森林の持つ多様な側面、姿を見てもらえるようにする。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	林内歩道の整備（122m） ----- ・参加人数：20名
5. 実施場所	南砺市細野地区
6. 事業期間	平成19年6月24日
7. 事業費 (県補助金)	104,217 円 (104,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	地域住民や一般来訪者が林内歩道を安全に利用し、集落後背の里山に親しむことができるようになった。

《 実施状況写真 》



着工前



完了



作業状況

《 事業概要 》

1. 実施団体名	呉羽丘陵 森の楽校
2. 事業名	2007 とやま竹フェスティバル
3. 事業目的	呉羽丘陵の竹林の伐採整備を実施し、竹林拡大を防ぐ。これにより伐り出された竹を活用して、世界級の環境運動のキャンドルナイトに併せて竹灯籠を作り、呉羽丘陵および県内の里山への状況に関心を高める。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 竹林整備 (0.25ha) ② 竹灯籠によるイベント (1回) ③ 竹についての講演会 (1回) ④ 竹のワークショップ (竹細工) (1回) ----- ・参加人数：621名
5. 実施場所	富山市吉作地内ほか
6. 事業期間	平成19年6月17日、6月22～24日、8月11日
7. 事業費 (県補助金)	780,000 円 (635,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	竹林整備・イベント・講演会により、呉羽丘陵の竹林の現状について関心を高めることができた。伐採した竹を竹灯籠にし、イベント後には竹細工の材料として再利用し、竹の利活用のあり方を示した。

《 実施状況写真 》



竹林整備



竹灯籠作成



イベント



講演会

《 事業概要 》

1. 実施団体名	夢創塾
2. 事業名	森林資源の利活用を促進する事業
3. 事業目的	間伐を体験し、併せて間伐材を活用するもの。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 杉林での間伐搬出体験（1ha） ② 間伐材による水車と水車小屋の建設 ③ 未利用間伐材を使った炭作り（2回） ----- ・参加人数：841名
5. 実施場所	朝日町蛭谷地内
6. 事業期間	平成19年6月12日～平成20年2月22日
7. 事業費 (県補助金)	1,021,300円 (778,000円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	間伐作業を行い、その間伐材を使って炭焼き・水車・水車小屋づくりを行なったことで、多くの参加者に森づくりの大切さを認識してもらえた。

《 実施状況写真 》



間伐搬出状況



雑木搬出



水車・水車小屋（完成）



炭焼き

《 事業概要 》

1. 実施団体名	アースデイとやま 2007 にかわ実行委員会
2. 事業名	森づくりフォーラム
3. 事業目的	シンポジウムを開催し、森づくりに関する県民意識を醸成する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	シンポジウムの開催（1回） ----- ・参加人数：650名
5. 実施場所	魚津市宮津 110 番（新川文化ホール）
6. 事業期間	平成 19 年 12 月 14 日
7. 事業費 (県補助金)	1,274,623 円 (1,000,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞取り)	森づくりシンポジウムで大勢の集客を得、今後の新川地区での森づくり活動に期待を持つことができた。

《 実施状況写真 》



シンポジウム開催状況



森の木霊コンサート



森と遊ぼうコーナー



パネル展示

県民による森づくり提案事業(アイデア提案)一覧表

分野	内容	番号	事業名	事業概要	事務局意見	
					事業への反映等	内容
オーナー制度	オーナー制度	1	森林づくりオーナー制度	森林組合が実施主体となって山林を借受け、 ① 森林づくりオーナーの募集 ② 講習会・イベントの開催を実施。	反映済	○オーナー制度は一般に森林所有者の所得の向上に繋がることから、これに代わるものとして、とやまの森づくりサポートセンターで森林所有者からの森づくり活動フィールドの登録と森林ボランティア対する情報提供を行なっている。 ○また、とやまの森づくりサポートセンターでは、森林ボランティア活動にこれから参加される方や、現在活躍中のボランティアのみなさんの施業技術の習得・向上や安全確保を目的として、『森づくり塾』を行なっている。
		2	春は山菜 秋はキノコ 木の実(刈、とちの実)の 食材収穫	県民から森林オーナーを募集し、 ① 間伐・伐採跡地での山菜・木の実の栽培 ② 間伐・伐採木でのほだ木づくり・キノコ栽培を自ら体験する機会を提供。	反映 (里山再生整備事業)	○「里山再生整備事業」のメニューの一つである「里山活用促進事業」で取組が可能であるが、市町村の取組が遅れている。 ○このため、広く県民に里山の実りを体験してもらうモデル的な事業を検討する。
		3	間伐材 立ち枯れ材 倒木 選定した枝等 を利用した堆肥づくりと昆虫飼育	県民から森林オーナーを募集し、 ① 間伐材等のチップ化・散水による堆肥の生産 ② 小学生を対象とした昆虫飼育を自ら体験する機会を提供。	反映 (みどりの森再生事業)	○本県では、広葉樹苗の生産体制が確立しておらず、主に長野県などの県外から移入されている。 ○しかしながら、今後は、提案にあるとおり、本県の気候土壌等の自然条件にあった遺伝的特性を持つ県内の種から育成した苗による森づくりを進めることが重要となってきている。 ○このため、県内の流域ごとに採取した広葉樹の種から苗を育成することを検討する。
森林整備	苗木の生産	4	造林用広葉樹苗木生産事業	造林用の県産広葉樹苗木の生産。(生産・管理を民間業者に委託。苗木は県が買取り。)	反映 (みどりの森再生事業)	○本県では、広葉樹苗の生産体制が確立しておらず、主に長野県などの県外から移入されている。 ○しかしながら、今後は、提案にあるとおり、本県の気候土壌等の自然条件にあった遺伝的特性を持つ県内の種から育成した苗による森づくりを進めることが重要となってきている。 ○このため、県内の流域ごとに採取した広葉樹の種から苗を育成することを検討する。

県民による森づくり提案事業(アイデア提案)一覧表

分野	内容	番号	事業名	事業概要	事務局意見	
					事業への反映等	内容
	里山整備	5	ふるさと美直(みなお)し事業	里山の竹林等森林整備を行なう際、県・市町村・地元の三者が、そこに生家ある人や出身者に協力を呼びかけ、手入れを行なったらどうか。竹林の整備後は、女性・子どもを含め竹の子採取もできます。	反映 (里山再生整備事業)	○「里山再生整備事業」のメニューの一つの「県民参加の森づくり」を実施する際には、提案の内容にある地元出身者・縁故者に参加を呼びかけるよう、事業の実施主体である市町村に助言する。 ○竹林の整備や竹の子の採取だけでなく、伐採した竹材の活用について検討する。
	植林	6	異種生育競争煽型植林	真直ぐな杉を短期間で育てるために、杉と唐松を並列に植栽。(自ら実践しておられ非常に成果が上がったので、この方法で整備を進めて欲しいという趣旨です)	—	○既存の造林事業で実施可能である。
	森林調査	7	森林所有界の調査事業	森林組合に対して、森林所有界確定のために必要な測量機器類の購入を助成。	—	○県内の森林組合においては、本年度で、測量機器の整備は終了した。
県民意識の醸成	きのこ栽培	8	小学校でのしいたけ栽培	① 原木・菌と栽培方法のパンフレットを小学校に配布。 ② 児童・PTAがしいたけを栽培・販売。	反映済	○水と緑の森づくり事業の一つである「森の寺子屋開催事業」で対応している。
	ボランティア	9	森づくりスタッフの養成	サポートセンターが実施している森づくり塾の ① 開催日を休日・祝祭日に設定。 ② 内容を森林総合利用に関する幅広いものに拡充。	反映済	○平成19年度の森づくり塾の開催にあたっては、受講生の利便性を考慮し、開催日を全て土・日・祝日に行なった。 ○研修内容についても、森林整備に係る基礎知識の習得から機械を使用した実践的な内容のほか、キノコの植菌、炭焼き体験まで幅広く実施している。
		10	富山県森林保全人材育成施設建設事業	森林ボランティア等の活動拠点施設の整備。(研修場所・倉庫・宿泊施設)	—	○県では、これまで林業普及センターや森林科学館等の研修施設を整備してきた。 ○また、本年9月、富山県森林水産会館内にボランティアの活動拠点として、「ボランティア交流サロン」を設置したので、幅広く活用していただくようPRに努めていく予定である。 ○宿泊施設については、上記施設等の活用状況を見た上で検討する。

県民による森づくり提案事業(アイデア提案)一覧表

分野	内容	番号	事業名	事業概要	事務局意見	
					事業への反映等	内容
利 森 林 活 資 源 用 の	資源活用	11	みんなで楽土(らくど)を拵える事業	発生資源(間伐材・落ち葉・枝等)を再利用する施設等の整備。(昆虫飼育施設・花壇)	反映 (里山再生整備事業)	○「里山再生整備事業」のメニューの一つである「里山活用促進事業」で取組が可能であるが、市町村の取組が遅れている。 ○このため、広く県民に里山の実りを体験してもらうモデル的な事業を検討する。
	林業	12	持続的な森林整備事業	林業採算性の向上のため、下記ソフト面で助成。 ① 木材安定供給体制のプランニング ② 森林情報データベースの設置・運営 ③ 森林の現況・境界調査や経営計画策定等	—	○林業採算性の向上は、「水と緑の森づくり税」を活用する事業の目的ではない。 ○但し、平成19年度から「水と緑の森づくり税」を活用し、「とやまの森づくり総合情報システム」の整備を行なっており、この中で森林情報データベースの整備は進めている。
そ の 他	調査・研究	13	広葉樹林整備の調査研究事業	森林整備のための調査・試験を短期間で行うため、県でチームの編成を。	—	○事業のアイデアではない
	土地活用	14	水(湧水)・木(ケヤキ)・土(腐葉土)・草(ワサビ)・魚(ニジマス)との共生	① 田の周囲にケヤキを植栽し、腐葉土を確保。 ② 他に、豊富な湧き水を利用してワサビ栽培・ニジマスを養殖。	—	○農地を対象としたアイデアである